ビューワーソフトウェア

型名 **VR-TS500**

ユーザーズガイド

LST0471-001G

はじめに

VR-TS500 はハードディスクレコーダーVR-509/VR-516 シリーズに対応した専用ビューワーソフトウェアです。本文中で注記なく「HDR」または「機器」と記載している場合は、VR-509/VR-516 シリーズを示します。本書は、VR-509/VR-516 シリーズの取扱説明書とあわせてお読みください。

VR-TS500 のおもな機能

●LAN を利用して HDR に接続

・HDR に入力されているライブ映像を表示

・HDR に記録されている画像を検索、再生、切り出し保存

・HDR のワーニング情報を表示

●ライブ映像、再生画像を静止画保存、印刷

●複数台の HDR（最大 16 台×16 ブロック）を統合管理

●通信制御カメラやリレーボックスの制御（カメラコントロール）

ご注意

●HDR 1 台あたり、最大 5 台（HDR が VR-509、VR-509(A)、VR-516、VR-516（A）の場合は 3 台）の VR-TS500 から接続することができます。

●複数のクライアントから同時に見ることができるライブ映像の画面数は、HDR 1 台あたり最大 32 画面です。（上記画面数には、Web ブラウザで表示する画面数を含みます。）

●HDR の画面制限数を超えた場合は、"接続数オーバー。表示できません"のメッセージが表示されます。

●同一の HDR 上で、ライブ映像の表示と記録画像の再生を同時に行うことはできません。また、HDR は、先に要求のあった処理を優先して実行します。

・接続中の HDR で、他のクライアントが記録画像を再生している間は、ライブ映像を見ることができません。

・接続中の HDR で、他のクライアントがライブ映像を見ている間は、記録画像を再生することができません。

●HDR のファームウェアが VR-TS500 に対応していない場合、HDR を VR-TS500 に登録する際、"機器のソフトウェアが VR-TS500 に未対応のため登録できません。最寄りのビクターサービスエンジニアリングにご連絡ください。"のメッセージが表示されます。

●NAT(アドレス変換)および IP マスカレード(ポート変換)の機能を持ったルータを経由する場合、HDR のファームウェアが対応していないと HDR を VR-TS500 に登録する際、"機器のソフトウェアが VR-TS500 の NAT/IP マスカレード機能に未対応のため登録できません。最寄りのビクターサービスエンジニアリングにご連絡ください。"のメッセージが表示されます。

●カメラコントロールを行う場合、カメラコントロールに対応した HDR とシステムコントロールユニット SW-U1403、通信制御カメラやリレーボックスが接続され、HDR と SW-U1403 の設定が正しく行われている必要があります。詳細は HDR の取扱説明書を参照してください。

●VR-TS500 では、TCP の 10853 番ポート、UDP の 20000 番ポートを使用します。

●本機の仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。

●PC のタイムゾーンは日本に設定してください。

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (http://www.apache.org/).
This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
This product includes software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)

VR-TS500 をご利用になる前に、以下の「ソフトウェア使用許諾契約書」を必ずお読みください。

［ ソフトウェア使用許諾契約書 ］

日本ビクター株式会社（以下「弊社」といいます）は、お客様に、弊社ハードディスクレコーダ”VR-509”または”VR-516”（以下「本製品」といいます）専用のビューワーソフトウエア”VR-TS500”（以下「本ソフト」といいます）を使用する権利を下記の条件で許諾します。

1．著作権

本ソフトに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属し又は第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトは、日本、アメリカ合衆国およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

2．権利の許諾

⑴　お客様は、本契約の条項に従って、本製品とともに本ソフトを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。

⑵　お客様は、お客様のPCに搭載されたHDDその他の記憶装置に本ソフトをインストールし、使用することができます。

⑶　お客様は、本ソフトをバックアップまたは保存の目的において複製することができます。

3．制限事項

⑴　お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。ただし、適法と認められる場合はこの限りではありません。

⑵　お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。

⑶　お客様には本ソフトを使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。

4．限定保証

本ソフトは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、弊社はその商品性、特定用途への適合性をはじめ、明示的にも黙示的にも本ソフトに関して一切保証しません。本ソフトに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

5. 責任の制限

弊社は、本契約その他いかなる場合においても、本ソフトに関連する結果的あるいは付随的損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）について、一切責任を負いません。お客様は、本ソフトの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より弊社を免責し、保証するものとします。

6. 契約期間

本契約は、お客様が本ソフトをお客様のPCにインストールされた日を以て発効し、次によって終了されない限り有効に存続するものとします。

お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は、お客様に対し何らの通知、催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。その場合、弊社は、お客様の違反によって被った損害をお客様に請求することができます。なお、本契約が終了したときには、お客様は直ちにお客様のハードウェアに保存されている本ソフトを破棄（お客様のPC上のメモリーからの消去を含みます）するものとします。

7. 輸出管理

お客様は、本ソフトあるいはそれに含まれる情報・技術を日本ならびにその他の関係国が出荷等を禁止ないし制限している国に出荷、移転または輸出しないことに同意します。

8. その他

⑴ 弊社の正当な代表者が署名した書面による場合を除き、本契約のいかなる修正、変更、追加、削除その他改変も無効とします。

⑵ 本契約のいずれかの規定が日本国の法律で無効とされた場合も、残りの規定は依然有効とします。

⑶ 本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

目次

はじめに........2
1．動作環境........5
2．起動と終了........7
3．管理するHDRを登録する........10
4．HDRのライブ映像を表示する........24
5．HDRのライブ映像を自動的に切り替えて表示する........25
6．ライブ映像で表示しているカメラをコントロールする........26
7．HDR内に記録された画像を検索・再生・保存する........30
8．PCに保存した画像を再生する........34
9．アラームが発生した映像を自動的に表示する........37
10．静止画の保存と印刷........38
11．VR-TS500 の動作設定を変更する........40
12．アクティベーションの設定をする........41
13．HDRの設定を変更する........41
14．VR-TS500 の管理者権限パスワードを変更する........41
15．機器と表示パターンの設定を初期化する........41
16．ワーニング情報を表示する........42
17．こまった時は........45

1. 動作環境

VR-TS500 を利用するためには、以下に示す PC 環境が必要です。

1．1　Windows XP の場合

OS のエディション		Windows XP Home Edition SP3 (JP) Windows XP Professional SP3 (JP)
PC 本体	種別	PC/AT 互換機
	CPU	Pentium4 2.4GHz 以上推奨
	メモリ	512MB 以上
	グラフィック	DirectX 9.0 サポート *1024×768 以上、24 ビット色以上 ATI RADEON 9800Pro、 NVIDIA GeForce FX5700 Ultra 搭載のビデオカードで動作検証済みです。
	サウンド	AC97 準拠(SoundMax 推奨)
	ネットワーク	LAN:10BASE-T/100BASE-T NAT/IP マスカレード対応 ※無線 LAN は動作が不安定なため推奨しません。
その他		DirectX 9.0c Internet Explorer 6.0 SP1 ソフトウェアのインストールに約 20MB、作業領域として、最大 5GB の空き容量が必要です。 記録画像ファイルの切り出しを行う場合は、ハードディスクに十分な空き容量が必要です。

1．2 Windows Vista の場合

<table>
<tr><td colspan="2">OS のエディション</td><td>Windows Vista Home Premium SP1 (JP)
Windows Vista Business SP1 (JP)
Windows Vista Ultimate SP1 (JP)</td></tr>
<tr><td rowspan="6">PC 本体</td><td>種別</td><td>PC/AT 互換機</td></tr>
<tr><td>CPU</td><td>Core 2 Duo T8300 以上推奨</td></tr>
<tr><td>メモリ</td><td>2GB 以上</td></tr>
<tr><td>グラフィック</td><td>DirectX 10.0 サポート
*1024×768 以上、24 ビット色以上
NVIDIA GeForce 8600M GT 搭載のビデオカードで動作検証済みです。</td></tr>
<tr><td>サウンド</td><td>AC97 準拠(SoundMax 推奨)</td></tr>
<tr><td>ネットワーク</td><td>LAN:10BASE-T/100BASE-T
NAT/IP マスカレード対応
※無線 LAN は動作が不安定なため推奨しません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他</td><td>DirectX 10.0
Internet Explorer 7.0
ソフトウェアのインストールに約 20MB、作業領域として、最大 5GB の空き容量が必要です。
記録画像ファイルの切り出しを行う場合は、ハードディスクに十分な空き容量が必要です。</td></tr>
</table>

＜ ご注意 ＞

- 動作環境は本ソフトウェアを快適にお使いいただくための目安であり、動作を保証するものではありません。
- Windows XP/Vista およびアンチウィルスソフトには、パーソナルファイアウォール機能を搭載しているものがあります。
  この機能がON になっていると正常に動作しないことがあります。その場合は例外設定などでVR-TS500を設定して
  お使いください。
- 記録画像ファイルの表示に異常が発生する場合は、グラフィックボードのドライバを最新のものにしてください。
  ドライバのバージョンにより、異常が発生する場合があります。
- 本ソフトウェアをお使いになる場合には、他のソフトウェアを起動しないでください。他のソフトウェアを起動していると、
  ライブ映像または記録画像が表示されない場合があります。このような症状が発生した場合には、ソフトウェアを
  終了し、PC を再起動して下さい。
- JVC製VN-RS800またはMilestone社製XProtectと同一PCへインストールした場合、VR-TS500が正しく動作しない場合
  があります。JVC製VN-RS800またはMilestone社製XProtectをアンインストールした後、VR-TS500をインストール
  してください。
- VR-TS500はNAT/IPマスカレードに対応していますが、HDRが非対応の場合機能しません。対応しているHDRは、
  Web設定画面のメニュー項目に[ネットワーク]→[NAT設定]があります。
- 「アプリケーションの設定」で「記録画像の保存先フォルダ」を保存できる権限がないフォルダを設定した場合、保存する際に
  エラーメッセージが表示されます。「記録画像の保存先フォルダ」には保存できる権限があるフォルダ（例えばマイドキュメント
  など）を指定してください。
- Windows VistaでVR-TS500を使用する場合、ユーザーアカウント制御の有効/無効を切り替えないでください。
  インストール後、ユーザーアカウント制御の有効/無効を切り替えた場合、登録した機器や表示パターンなど正しく読み込めなくなることがあり
  ます。その場合、これらの情報を再度登録しなおしてください。
  インストール後、ユーザーアカウント制御の有効/無効を切り替えた場合、アクティベーション情報がリセットされる場合があります。その場合、
  再度アクティベーションを行ってください。
- VR-TS500はインストールしたユーザーのみ使用できます。

2. 起動と終了

2. 1　VR-TS500 の起動

Windows の[スタート]メニューから、[すべてのプログラム]の[JVC]-[VR-TS500]-[VR-TS500]を選択して起動します。起動時にはパスワードを入力する画面が表示されます。

何も入力しないで[ログイン]ボタンをクリックすると、一般ユーザー権限でソフトウェアが起動します。
管理者パスワードを入力しログインすると管理者モードでソフトウェアが起動します。管理者モードで起動した場合には、ソフトウェアの設定機能が使用できます。
起動するブロックを変更したい場合は、[選択...]ボタンをクリックします。
※ブロックとは、最大 16 台の HDR の設定を保存したものです。ブロックは 16 個設定でき、起動するブロックを選択することによって最大 256 台の HDR の統合管理ができます。

[起動するブロックの選択]画面が表示されます。

ブロック名をダブルクリックすると、ブロック名の変更ができます。
[選択項目を上へ] [選択項目を下へ]ボタンをクリックすると、選択中のブロックの順序変更ができます。

※ソフトウェアインストール直後はHDRが登録されていないため、管理者モードで起動してHDRを登録してください。詳細は次ページの“3. 管理するHDRを登録する”を参照してください。

※工場出荷時の管理者パスワードとパスワードの変更方法については、“14. VR-TS500 の管理者権限パスワードを変更する”を参照してください。

※管理者パスワードを入力していると、ブロック名の変更、順序の入れ替えができます。

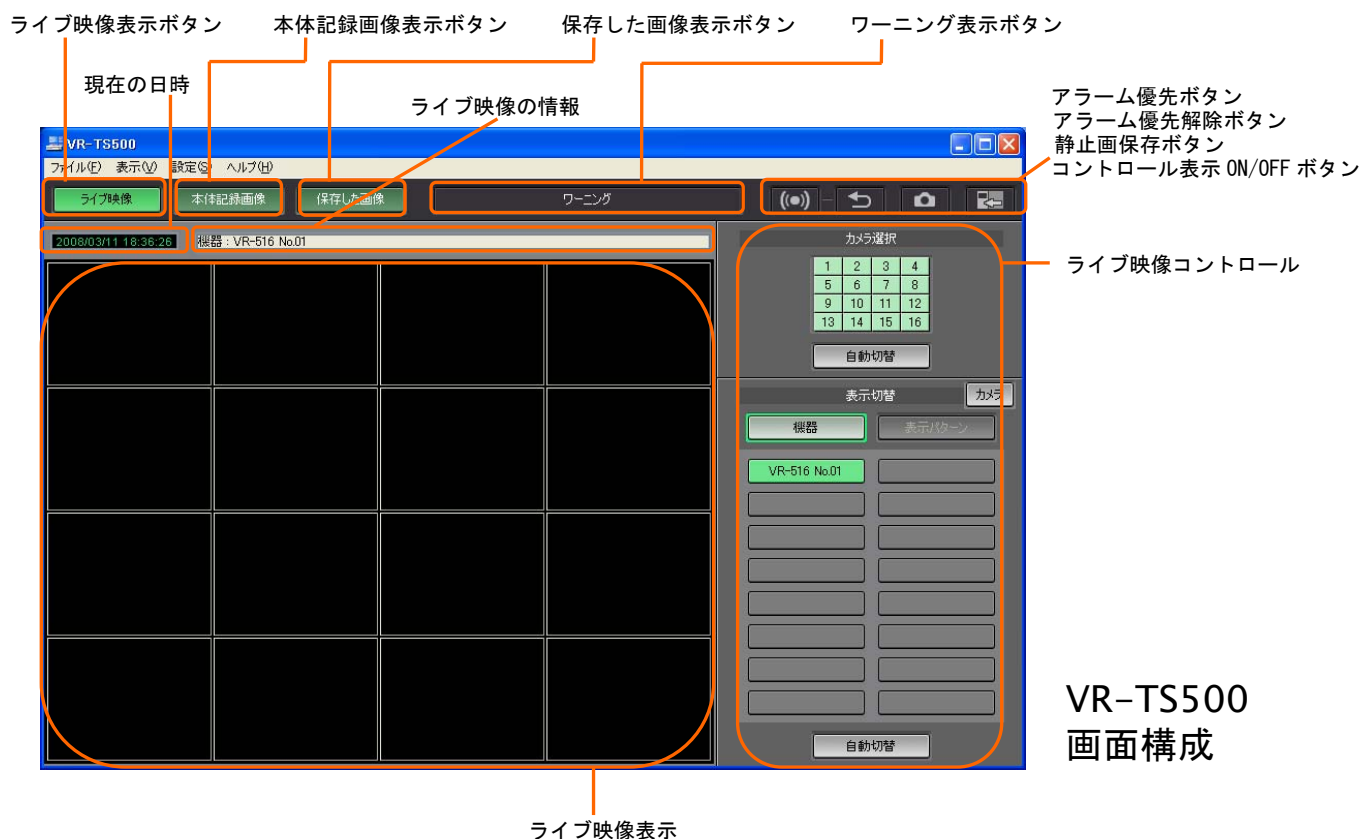
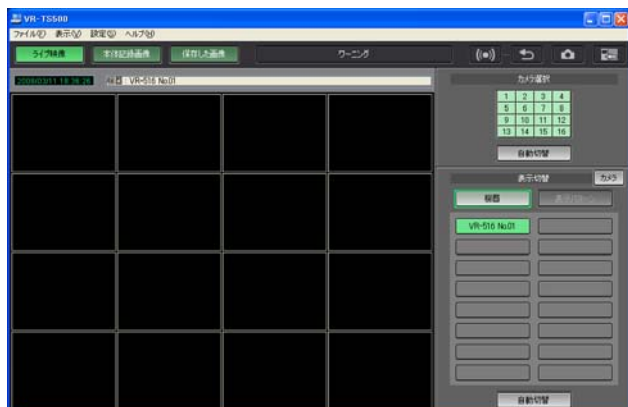
ライブ映像表示ボタン　本体記録画像表示ボタン　保存した画像表示ボタン　ワーニング表示ボタン

現在の日時

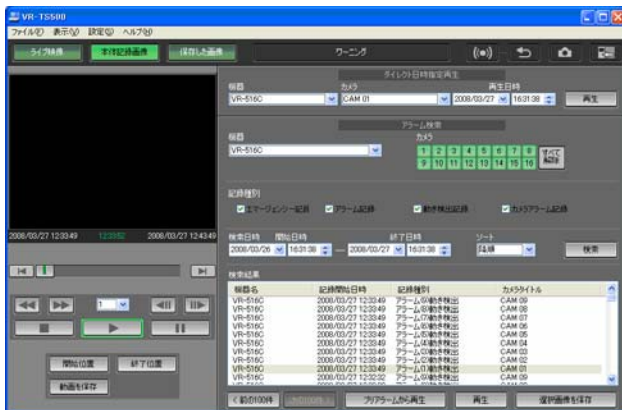
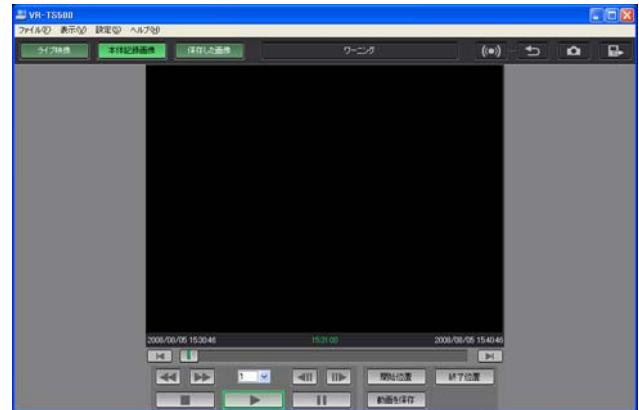
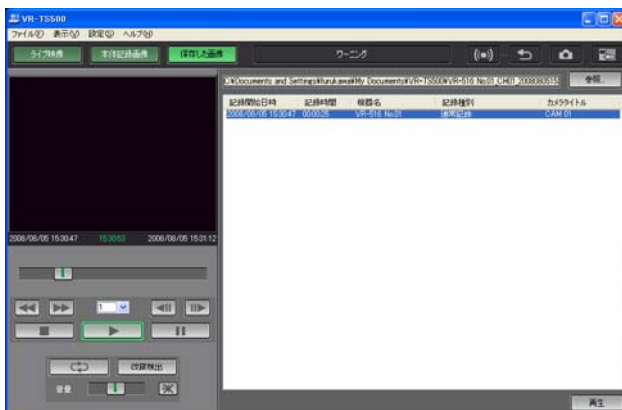
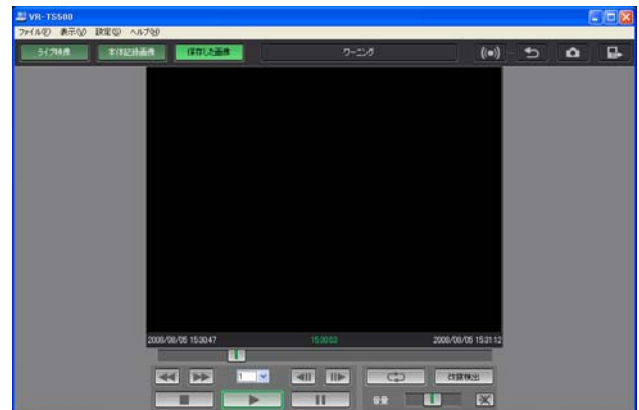
ライブ映像の情報

アラーム優先ボタン
アラーム優先解除ボタン
静止画保存ボタン
コントロール表示 ON/OFF ボタン

ライブ映像コントロール

ライブ映像表示

VR−TS500
画面構成

ライブ映像表示　通常時

ライブ映像表示　コントロール非表示

本体記録画像表示　通常時

本体記録画像表示　コントロール非表示

保存した画像表示　通常時

保存した画像表示　コントロール非表示

2．2　VR-TS500 の終了

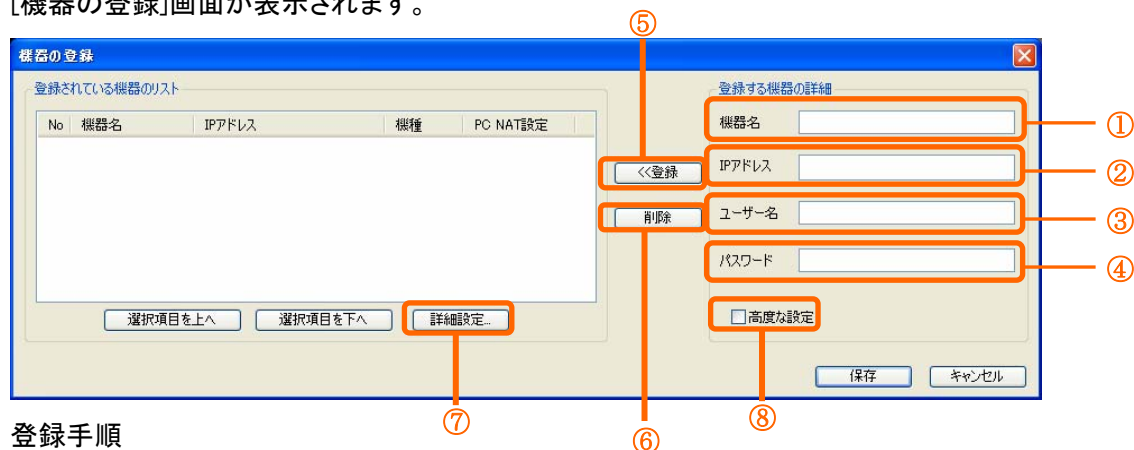
VR-TS500 を終了するには、[ファイル]メニューから[アプリケーションの終了]を選択します。

HDR と接続されている状態で終了した場合には、HDR との接続が切断されます。

3. 管理するHDRを登録する

3. 1　HDR の登録

HDRに接続して、ライブ映像の表示、記録済み画像の検索・再生・切り出し保存を行うには、管理するHDRをVR-TS500 に登録する必要があります。HDRの登録は、管理者モードで起動している場合のみ実行可能です。登録を実行するには、[設定(S)]メニューの[機器の登録(R)...]をクリックします。

[機器の登録]画面が表示されます。

登録手順

①[機器名]の部分に、任意の名前を入力します。

②[IP アドレス]の部分に、HDR の IP アドレスを入力します。

③[ユーザー名]の部分に、HDR のネットワークユーザー名を入力します。

(Administrators のアクセスユーザー権限を持つユーザー名を指定してください。)

④[パスワード]の部分に、HDR のネットワークパスワードを入力します。

⑤入力が完了したら[<<登録]ボタンをクリックします。

HDR との接続確認が完了すると、登録された HDR の情報が[登録されている機器のリスト]に表示されます。※接続することができない HDR は、登録することができません。

HDR は最大 16 台まで登録することができます。登録の順序を変えたいときは、リストの中から変更したい HDR を選択し、[選択項目を上へ][選択項目を下へ]ボタンをクリックして調整します。
選択した HDR に含まれるカメラの表示 ON/OFF、配信する映像の画質を設定したい場合には、⑦[詳細設定]ボタンをクリックします。

※登録されている機器を削除するには、削除する機器の列をクリックし、⑥[削除]ボタンをクリックします。

※HDR の登録が完了すると、登録した HDR に対してアラーム発報の通知設定を行います。

※アラーム発報の通知設定の後、HDR に設定されているカメラタイトルを自動的に取得します。

⑧「高度な設定」チェックボックスを ON にします。（NAT/IP マスカレード設定時）

ON にすると PC 側と HDR 側の NAT/IP マスカレード設定が表示され、必要な項目を入力します。

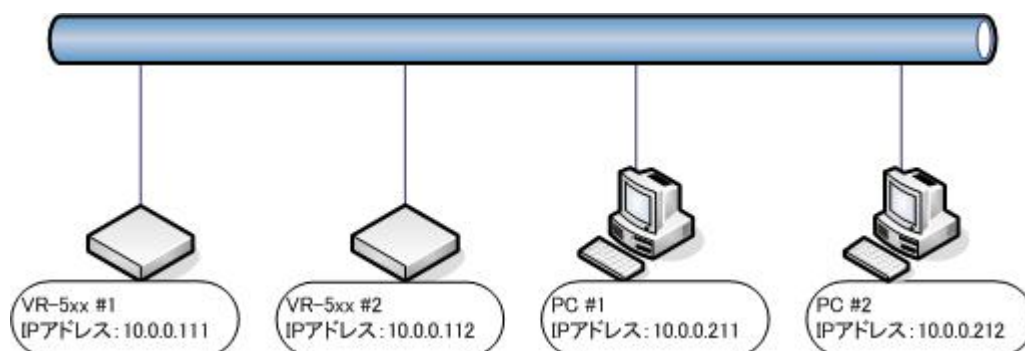
※本体ファームウェアが NAT/IP マスカレードに対応していない場合、高度な設定を用いた HDR の登録はできません。

※ルータの NAT/IP マスカレード設定は使用するルータの取扱説明書を参照してください。

※登録済みの HDR の設定を変更する場合には、登録している HDR の設定をいったん削除してください。

登録が完了すると、以下のように登録されている機器を表示します。

3．1．1　設置例1

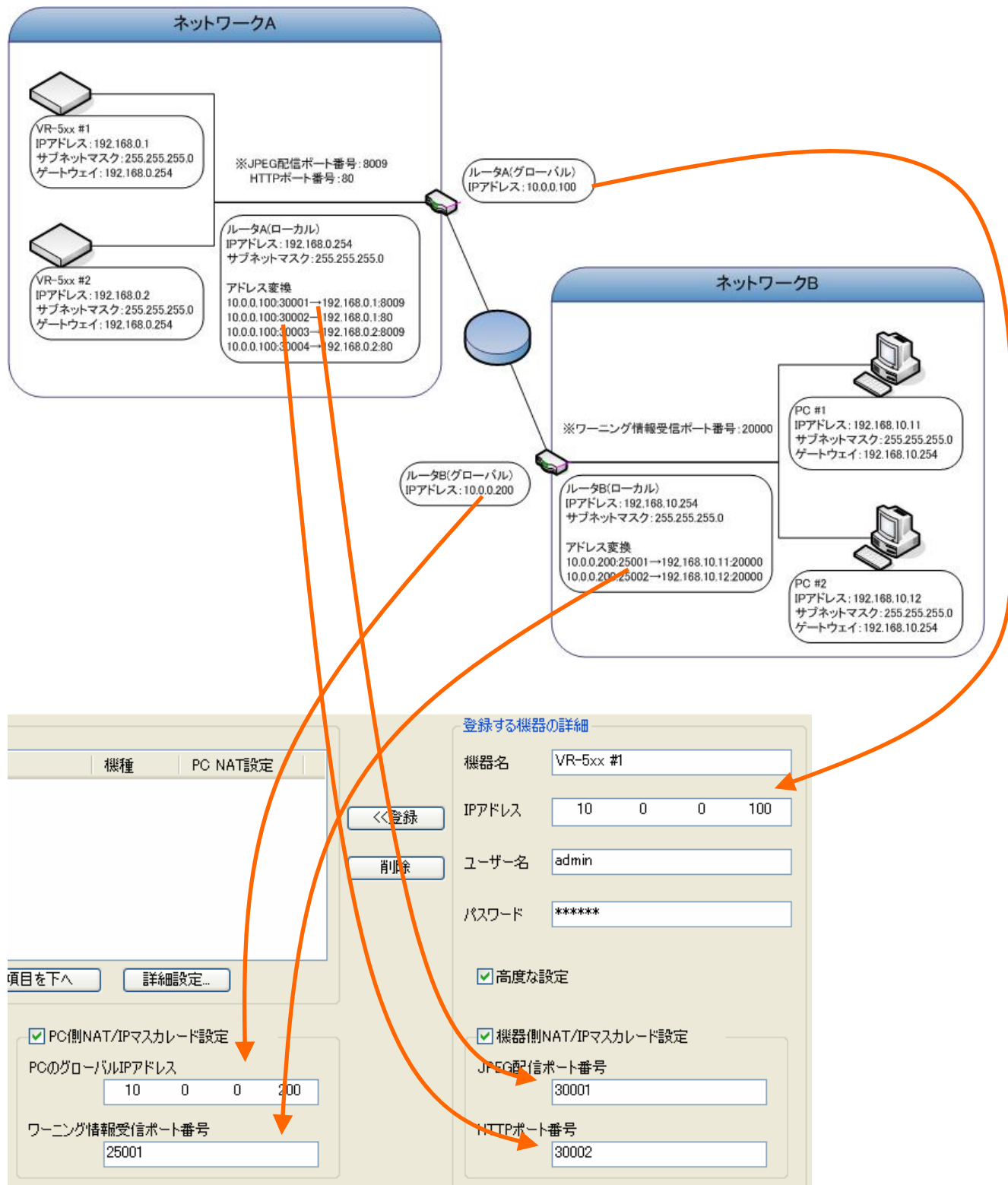
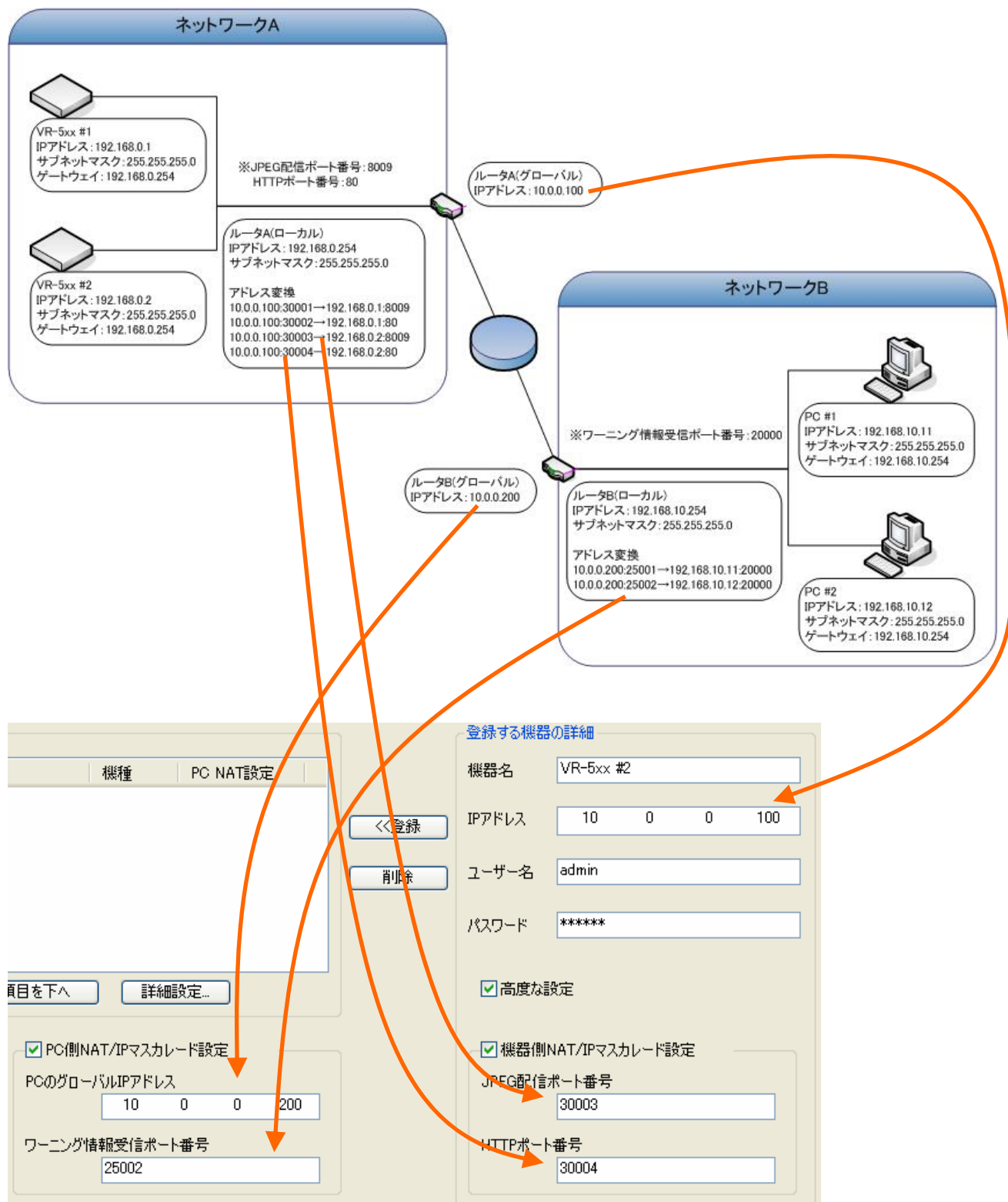
HDR と PC が同じローカルネットワークに存在する場合

「高度な設定」を設定する必要はありません。

VR-5xx #1 を PC #1 上で起動している VR-TS500 に登録する場合、以下のように入力します。

VR-5xx #2 を PC #2 上で起動している VR-TS500 に登録する場合、以下のように入力します。

3．1．2　設置例2

HDR と PC がともに NAT/IP マスカレードするルータを経由している場合

VR-5xx #1 を PC #1 上で起動している VR-TS500 に登録する場合、以下のように入力します。

VR−5xx #2 を PC #2 上で起動している VR−TS500 に登録する場合、以下のように入力します。

３．１．３　設置例3

HDR が NAT/IP マスカレードするルータを経由している場合

VR-5xx #1 を PC #1 上で起動している VR-TS500 に登録する場合、以下のように入力します。

VR-5xx #2 を PC #2 上で起動している VR-TS500 に登録する場合、以下のように入力します。

ネットワークA

VR-5xx #1
IPアドレス：192.168.0.1
サブネットマスク：255.255.255.0
ゲートウェイ：192.168.0.254

VR-5xx #2
IPアドレス：192.168.0.2
サブネットマスク：255.255.255.0
ゲートウェイ：192.168.0.254

※JPEG配信ポート番号：8009
HTTPポート番号：80

ルータA(ローカル)
IPアドレス：192.168.0.254
サブネットマスク：255.255.255.0

アドレス変換
10.0.0.100:30001→192.168.0.1:8009
10.0.0.100:30002→192.168.0.1:80
10.0.0.100:30003→192.168.0.2:8009
10.0.0.100:30004→192.168.0.2:80

ルータA(グローバル)
IPアドレス：10.0.0.100

PC #1
IPアドレス：10.0.0.211

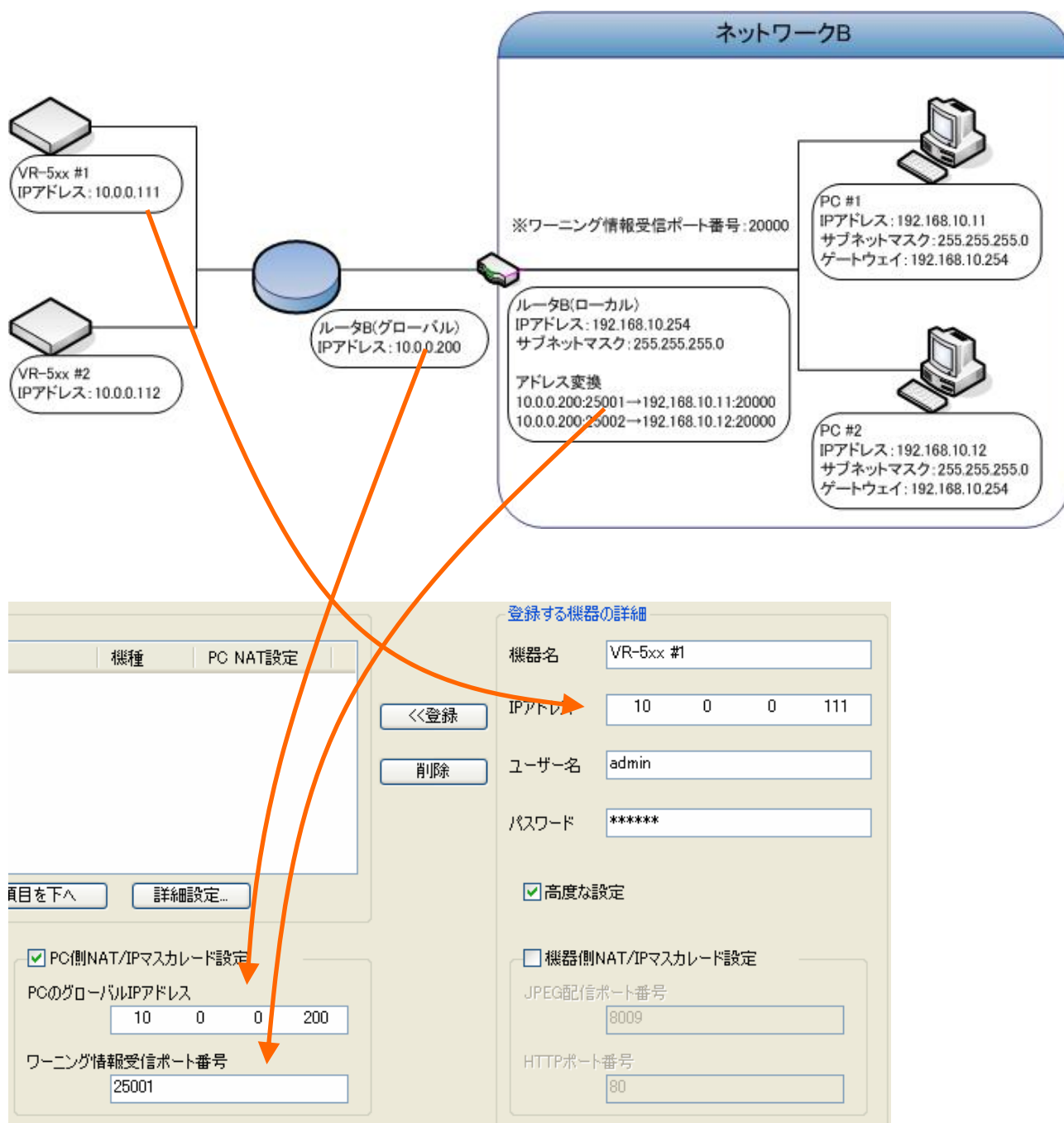
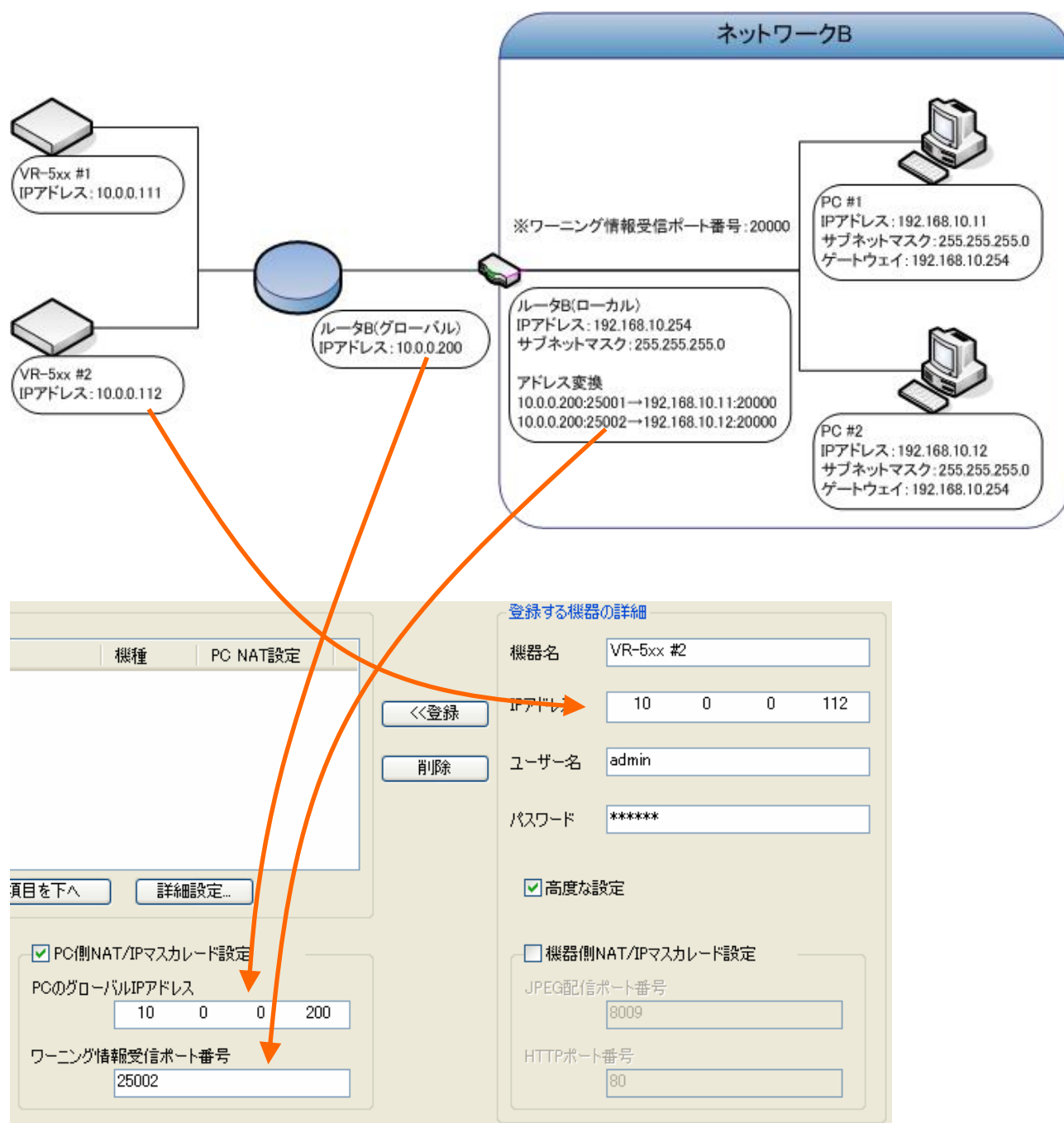
PC #2
IPアドレス：10.0.0.212

機種　PC NAT設定
<<登録
削除
項目を下へ　詳細設定...
PC側NAT/IPマスカレード設定
PCのグローバルIPアドレス
ワーニング情報受信ポート番号
20000

登録する機器の詳細
機器名　VR-5xx #2
IPアドレス　10 0 0 100
ユーザー名　admin
パスワード　******
高度な設定
機器側NAT/IPマスカレード設定
JPEG配信ポート番号
30003
HTTPポート番号
30004

３．１．４　設置例4

PC が NAT/IP マスカレードするルータを経由している場合

VR−5xx #1 を PC #1 上で起動している VR−TS500 に登録する場合、以下のように入力します。

VR-5xx #2 を PC #2 上で起動している VR-TS500 に登録する場合、以下のように入力します。

３．２　機器の詳細設定

機器の登録画面で、登録されている機器のリストから機器を選択し、[詳細設定]ボタンをクリックすると機器の詳細設定画面が表示されます。

[機器の詳細設定]画面

この画面では、次の項目について設定することができます。

●機器名の変更

●機器の自動切替時に、機器の表示 ON/OFF

●アプリケーションをユーザー権限で起動したとき、VR-TS500 に表示するカメラの ON/OFF

●カメラの自動切替時に、表示するカメラの ON/OFF

●カメラコントロールするカメラの ON/OFF

●配信する画像の画質

[High(高画質), Normal(標準画質), Basic(中画質), Long(長時間画質), Narrow(狭帯域画質), S.Narrow(超狭帯域画質)]

※新規登録した場合には、表示するカメラは全て ON、配信する画質は High になります。

※表示するカメラの設定を OFF にしても、"アラーム優先表示"機能は有効です。ただし、映像は表示できません。アラーム優先表示機能については、"９．アラームが発生した映像を自動的に表示する"を参照してください。

※表示するカメラの設定を OFF にしても、本体記録画像の検索では、検索結果に表示されますが、画像は表示されません。

※ユーザー権限時に表示するカメラの ON/OFF 設定は VR-TS500 にユーザー権限でログインしている場合にのみ有効となります。管理者権限でログインしている場合には、ライブ映像が表示され、左上に青色の「H」のマークが追加表示されます。

※配信する画像のフレームレートは、分割画面数や PC 環境に応じて、VR-TS500 が制御します。配信する画質の設定で、フレームレートを設定することはできません。

※カメラコントロールを ON にしても、カメラが SW-U1403 と接続されていない場合や固定カメラの場合、カメラコントロールはできません。

３．３ 表示パターンの登録

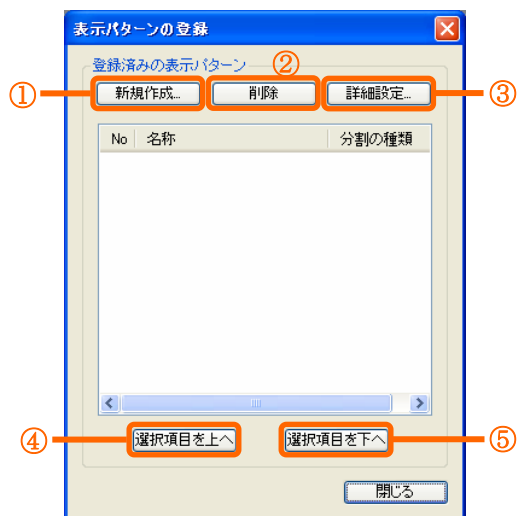
表示パターンを登録すると、

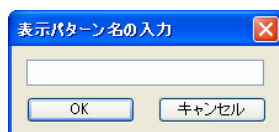
●複数の HDR のカメラを同時に表示することができます。

●任意のカメラのライブ映像を表示パターンの指定の場所に表示することができます。

表示パターンの登録は、管理者権限でログインしている場合のみ実行可能です。

登録を実行するには、[設定(S)]メニューの[表示パターンの登録(V)...]をクリックします。

[表示パターンの登録]画面が表示されます。

表示パターンを新規に作成するには、①[新規作成...]ボタンをクリックします。

[表示パターン名の入力]画面が表示されます。

表示パターン名を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

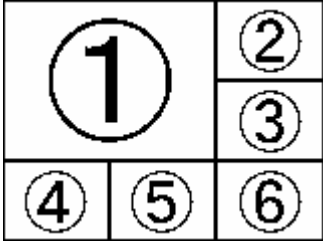
[表示パターンの登録]画面の[登録済みの表示パターン]のリストの最後に入力した表示パターン名が追加されます。表示パターンを新規作成した場合には、引き続き、③[詳細設定]ボタンをクリックして表示パターンの設定を行ってください。新規作成した場合には、分割の種類は[単画面*]となります。

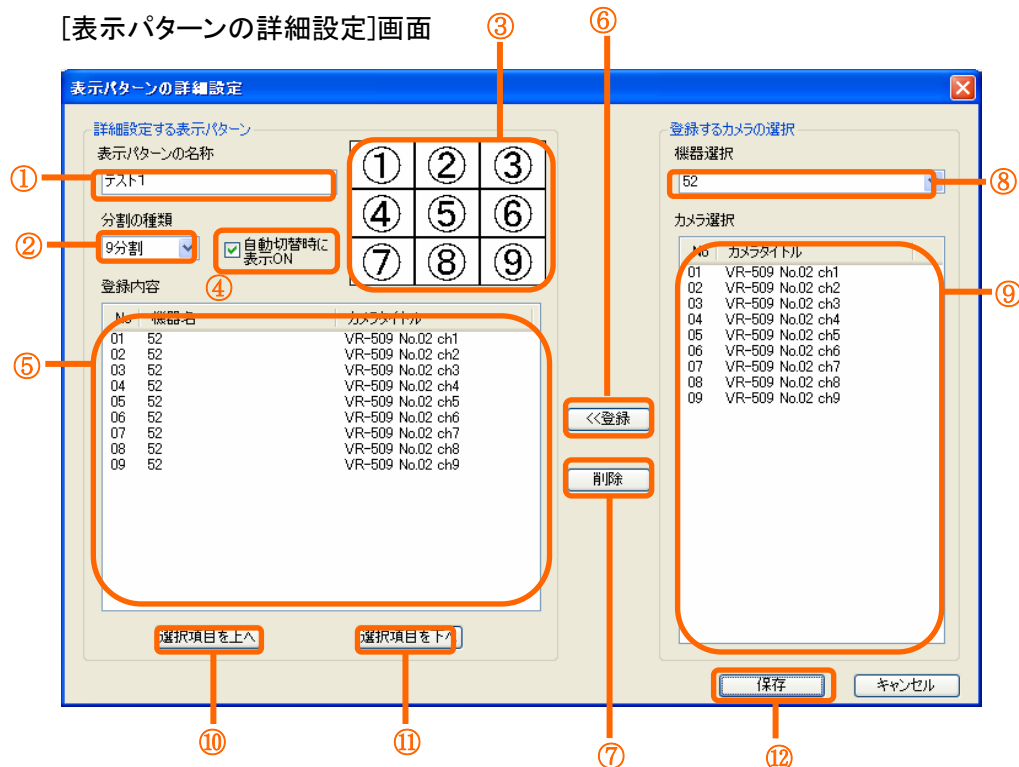
※表示パターン内に未登録の場所が 1 つ以上ある場合、分割の種類の横に“*”が表示されます。

登録済みの表示パターンの順序を変更したい場合は、変更したい表示パターンを選択し、④[選択項目を上へ]、⑤[選択項目を下へ]ボタンをクリックして順序を調整します。

※最大 16 パターンまで登録できます。

※登録されている表示パターンを削除するには、削除する表示パターンの列をクリックし、②[削除]ボタンをクリックします。

３．４ 表示パターンの詳細設定

新規作成した表示パターンを設定したり、登録済みの表示パターンの設定を変更する場合には、[表示パターンの登録]画面で表示パターンを選択し、[詳細設定...]ボタンをクリックします。

[表示パターンの詳細設定]画面

設定手順：

1. ①[表示パターンの名称]に表示パターン名を入力します。
2. ②[分割の種類]から画面分割の種類を選択します。単画面、4、6、7、8、9、10、13、16 分割から選択することができます。
3. ③に、選択された分割の種類の詳細が表示されます。表示されている数字は、④登録内容リストの No と対応しています。
4. 自動切替時に表示する場合、④[自動切替時に表示 ON]のチェックをつけます。
5. ⑧[機器選択]から HDR を選択し、⑨[カメラ選択]リストからカメラを選択します。⑥[<<登録]ボタンをクリックすると、選択したカメラが、⑤登録内容リストの最後尾に登録されます。
   登録の順序を変更したい場合には、変更するカメラの列をクリックし、⑩[選択項目を上へ]、⑪[選択項目を下へ]ボタンをクリックして調整します。

※登録されているカメラを削除するには、削除するカメラの列をクリックし、⑦[削除]ボタンをクリックします。

※HDR 上で同じカメラタイトルが設定されている場合は、表示パターンに登録できない場合があります。登録できない場合は、HDR 上のカメラタイトルを変更してください。

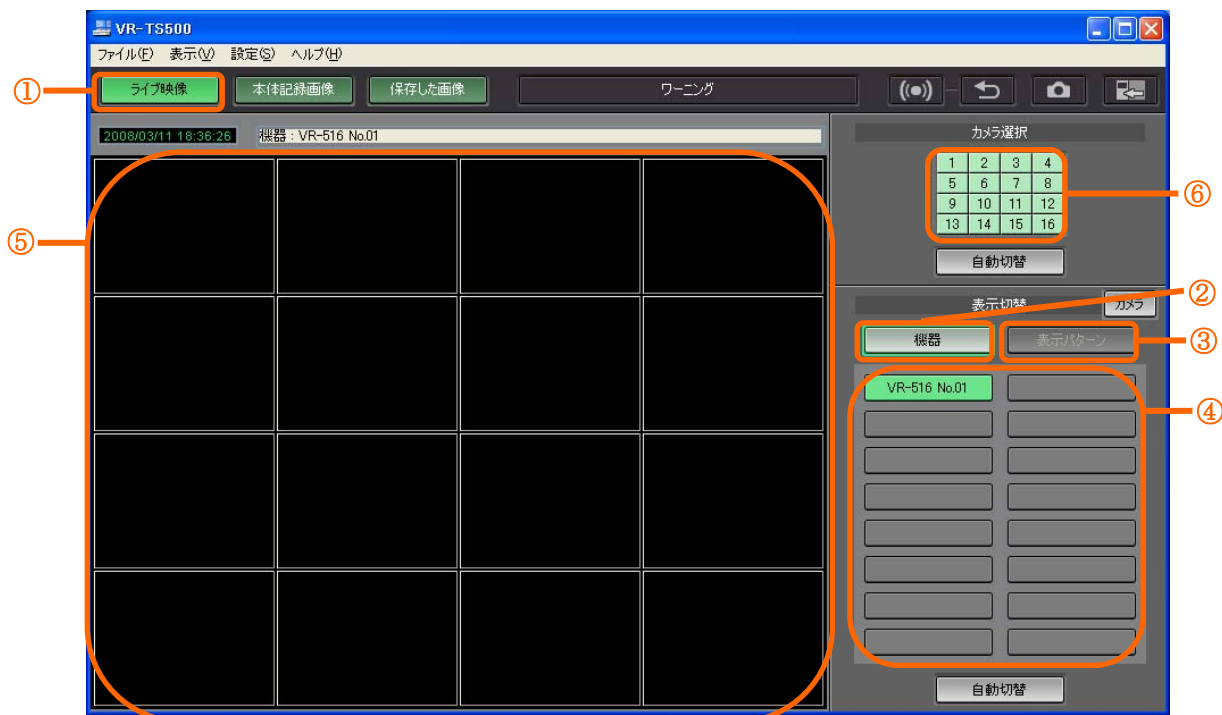
6. 設定が完了したら、⑫[保存]ボタンをクリックします。

●分割の種類一覧

分割の種類	詳細
単画面	①
4 分割	① ② ③ ④
6 分割	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
7 分割	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
8 分割	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

9 分割	①②③ ④⑤⑥ ⑦⑧⑨
10 分割	①② ③④⑤⑥ ⑦⑧⑨⑩
13 分割	①②③ ④⑤ ⑥⑦⑧⑨ ⑩⑪⑫⑬
16 分割	①②③④ ⑤⑥⑦⑧ ⑨⑩⑪⑫ ⑬⑭⑮⑯

4. HDRのライブ映像を表示する

①「ライブ映像」ボタンをクリックします。(または、[表示(V)]メニューの[ライブ映像(L)]を選択します)

●任意の HDR のライブ映像を表示する場合

②「機器」ボタンをクリックすると、登録されている HDR が④に表示されます。

その中から表示する HDR ボタンを選択します。

●登録された表示パターンでライブ映像を表示する場合

③「表示パターン」ボタンをクリックすると、登録されている表示パターンが④に表示されます。

その中から、表示パターンを選択します。

●1 つの画面(=単画面)でライブ映像を表示する場合

分割画面で表示されている場合、⑤ライブ映像、または⑥カメラ選択ボタンをクリックすると、クリックしたカメラのライブ映像が単画面で表示されます。もしくは、単画面で設定した表示パターンを選択します。

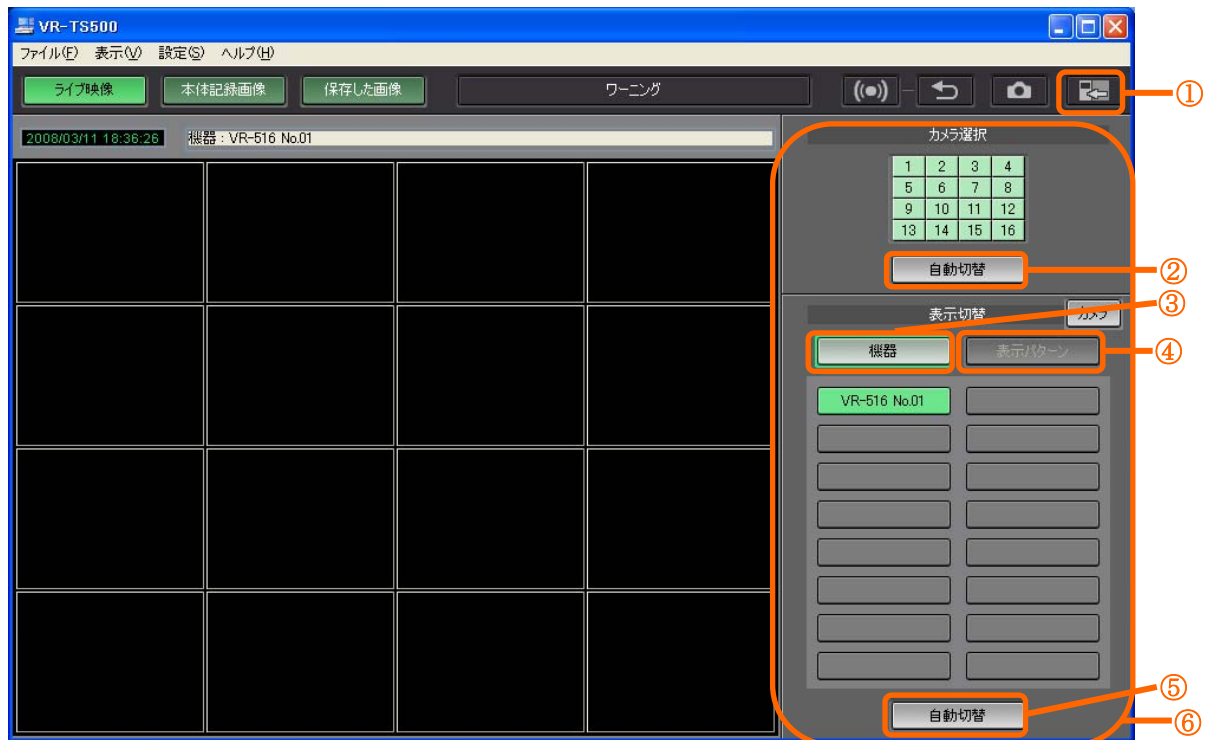
●映像の一部を拡大して表示する場合

映像が単画面で表示されている状態で、映像内の特定の位置を左クリックすると、クリックした位置を中心に最大 4 倍まで 2 段階に拡大表示します。右クリックすると、表示倍率が 1 段階戻ります。

分割画面表示から拡大表示している状態で⑥カメラ選択ボタンをクリックすると、分割画面表示に戻ります。

※“アラーム優先表示”機能によって、映像が単画面で表示されている場合は、拡大表示できません。

※“自動切替”機能を使用している場合は、拡大表示できません。

5. HDRのライブ映像を自動的に切り替えて表示する

●現在表示されている HDR、または表示パターンに登録されたカメラのライブ映像を、“カメラ”単位で自動的に切り替えて表示する場合

②[自動切替]ボタンをクリックします。映像を単画面で表示し、設定された時間毎に自動的に映像が切り替わります。

※切り替え時間の設定については、“11. VR-TS500 の動作設定を変更する”を参照してください。

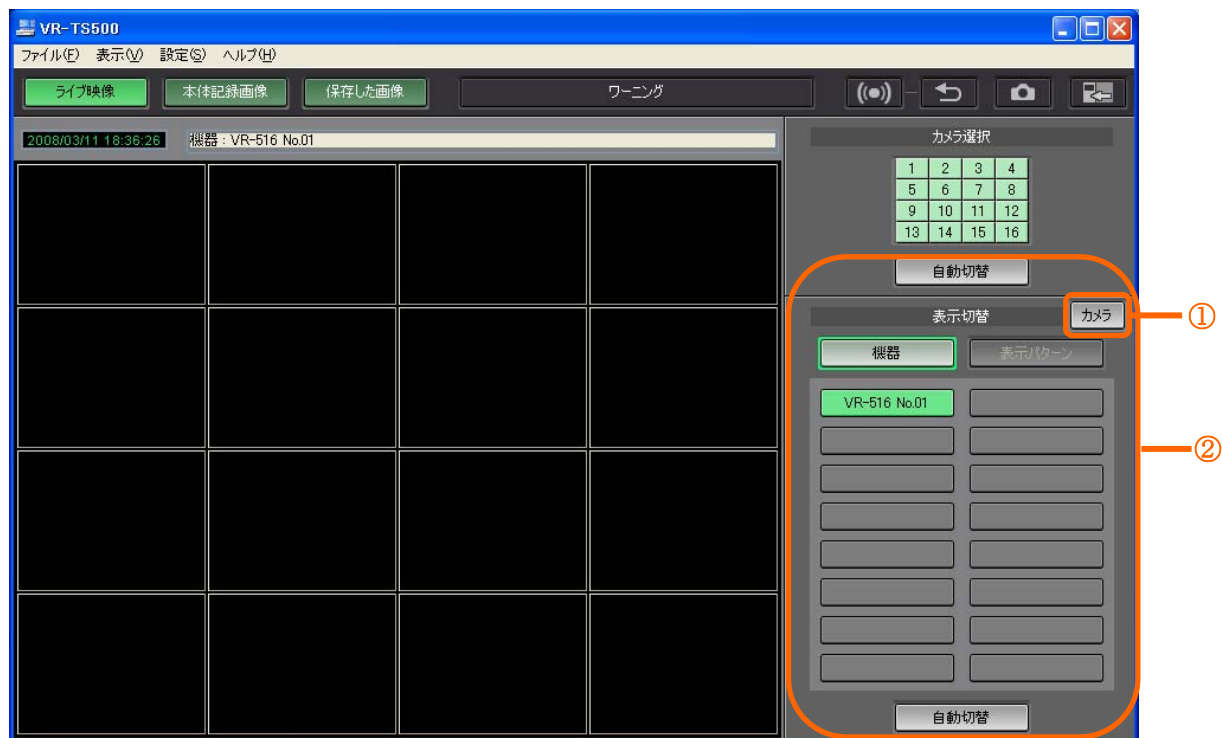
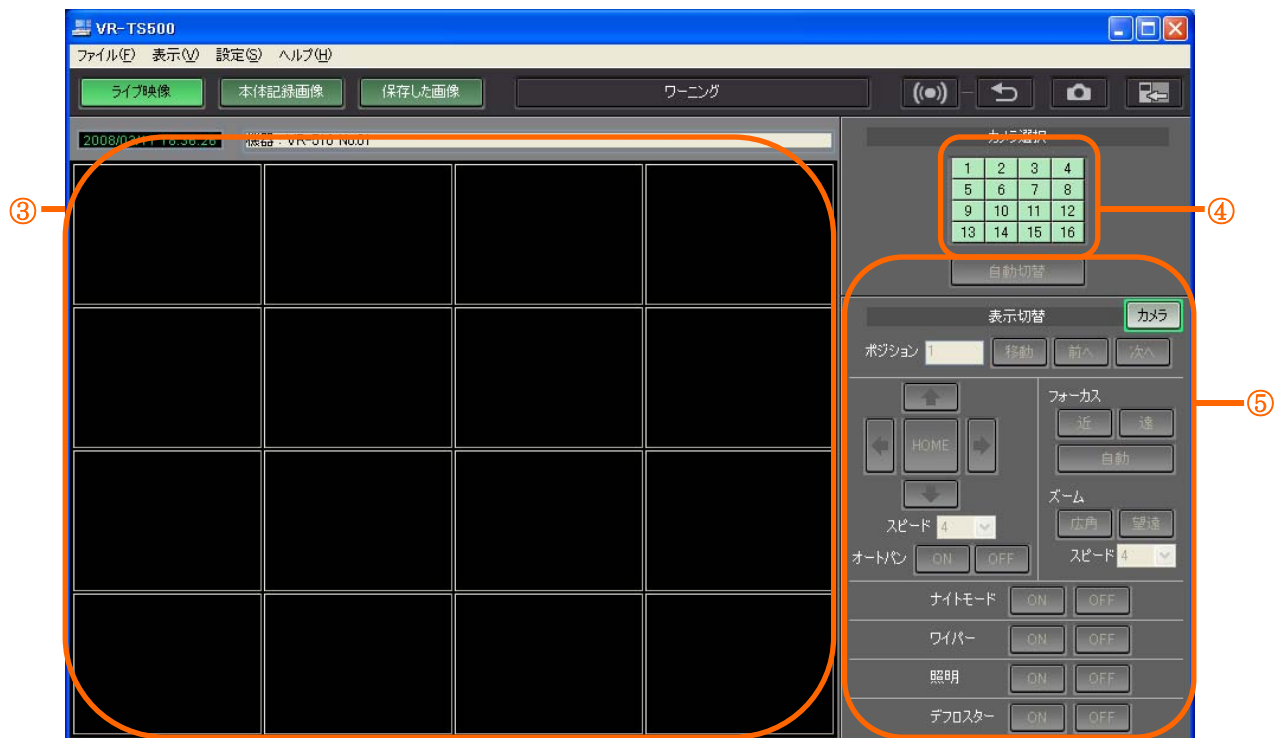
※画面の切り替えには、数秒かかる場合があります。

●HDR または表示パターンを“(分割)画面”単位で自動的に切り替えて表示する場合

③機器または④表示パターンをクリックしてから、⑤[自動切替]ボタンをクリックします。HDR または表示パターンを、設定された時間で自動的に切り替えて表示します。

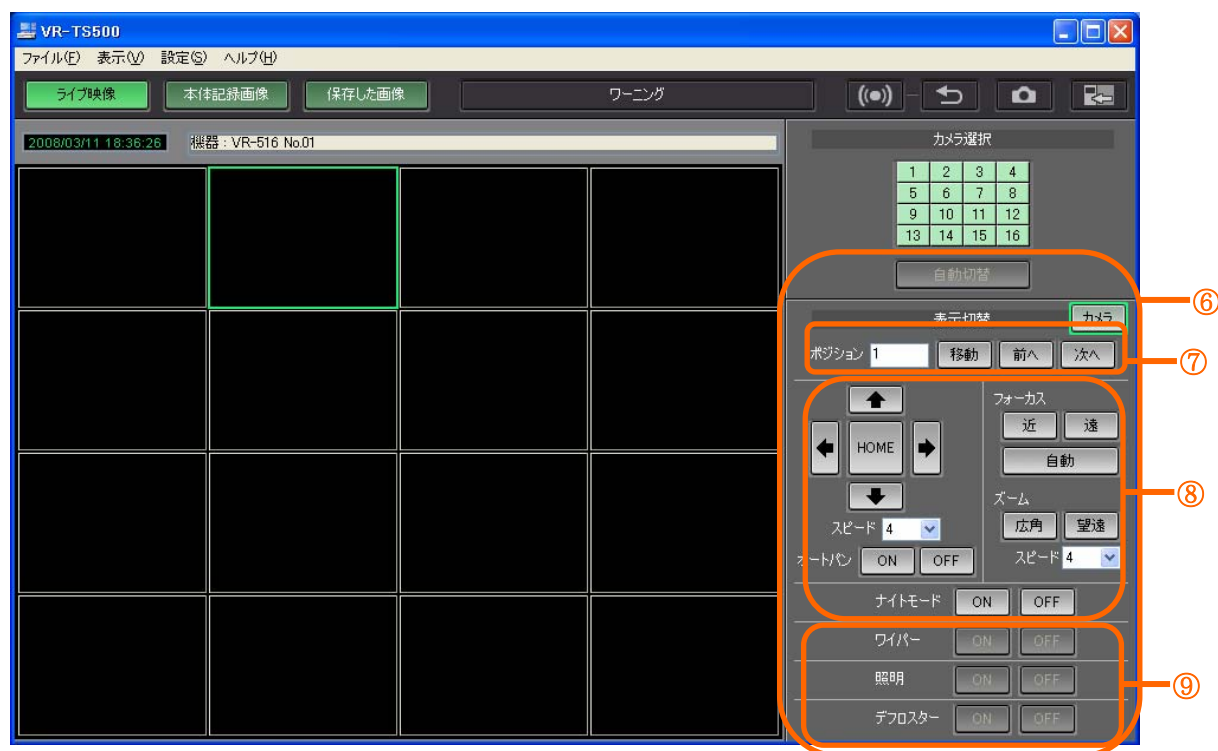
●⑥操作用ボタンを表示/非表示する場合

①[コントロールの表示/非表示]ボタンをクリックすると、⑥操作用ボタンの表示/非表示を変更することができます。

６. ライブ映像で表示しているカメラをコントロールする

①カメラをクリックすると、②のボタンが、下の⑤のように切り替わります。

コントロールしたいカメラの③ライブ映像、または④カメラ選択ボタンをクリックすると、選択したカメラのライブ映像に色枠が表示されます。

イメージ	枠の色	意味
	緑	カメラコントロール設定 ON でカメラコントロールできる
	赤	カメラコントロール設定 ON だが、カメラコントロールできない
	暗い黄	カメラコントロール設定 OFF または UDP 発報できなかった HDR のカメラ

※カメラコントロール設定は“3．2．機器の詳細設定”を参照してください。

カメラコントロールできる状態になったとき、⑤のボタンが⑥のように有効となります。
（このとき、カメラコントロールの操作権限が取得できている状態）

［メモ］

※⑦ポジション移動ボタン

「表示パターン表示」のとき無効となり、「機器表示」のときのみ有効となります。

※選択したカメラがリレーボックスのとき、⑨ワイパー、照明、デフロスターが有効となり、⑧の Home ボタン、パンチルトのスピード選択、フォーカス自動ボタン、ズームのスピード選択が無効となります。

※カメラコントロール中

アラーム優先機能は ON にできません。

ライブ映像の自動切替はできません。

ライブ映像のクリックはズームではなく、カメラの選択となります。

複数画面表示の場合、選択されているカメラを左クリックすると、単画面表示になります。

単画面表示の場合、ライブ映像を右クリックすると、複数画面表示になります。

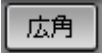
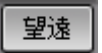
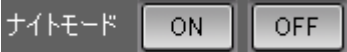
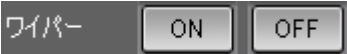
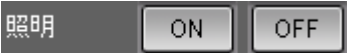
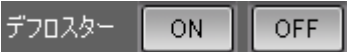
スピードが速い設定の場合、表示している映像が乱れる場合があります。

※カメラコントロールの操作権限について

HDR やリモートコントロールユニットでカメラコントロールしているとき、カメラコントロールの操作権限が取得できないため、カメラコントロールができません(⑥が無効状態になります)。HDR やリモートコントロールユニットが操作権限の保持を解放するまでお待ちください。

※カメラの移動量について

1 回のクリックでのカメラの移動量は、一定ではありません。

※HDR のメニュー表示中

HDR の操作で、HDR の設定メニューや再生メニューを表示している場合、カメラコントロールはできません。HDR の設定メニューを閉じてください。

※HDR が DVD 操作モード中

HDR が DVD 操作モードのとき、HDR のファームウェアのバージョンによっては、カメラコントロールはできません。HDR を HDD 操作モードにしてください。

●コントロール一覧:カメラコントロール

コントロール	名称	説明
1 移動	ポジション指定、移動ボタン	移動したいポジション(1～1600)を入力できます。移動ボタンを押すと、指定したポジションに移動します。 ※1
前へ 次へ	前のポジション、次のポジションへ移動ボタン	SW-U1403 で選択されているポジションの一つ前または一つ次に登録されているポジションに移動します。 ※1※2※3
	パンボタン・チルトボタン	カメラを左・右・上・下に動かします
HOME	ホームボタン	カメラをホームポジションに移動します
4	パンチルトの動作速度設定 1～8	パンチルト動作の速度を設定します
オートパン ON OFF	オートパンボタン	オートパン ON/OFF を設定します
近 遠	フォーカスボタン	フォーカスを近・遠に動かします
自動	ワンプッシュオートフォーカスボタン	ワンプッシュオートフォーカスを実行します

広角 望遠	ズームボタン	ズームを広角・望遠に動かします
4	ズームの動作速度設定 1～8	ズーム動作の速度を設定します
ナイトモード ON OFF	ナイトモードボタン	ナイトモード ON/OFF を設定します ※4
ワイパー ON OFF	ワイパーボタン	ワイパーON/OFF を設定します
照明 ON OFF	照明ボタン	照明 ON/OFF を設定します
デフロスター ON OFF	デフロスターボタン	デフロスターON/OFF を設定します

※各ボタンの詳細な動作については HDR の取扱説明書を参照してください。

※1 ポジション移動に成功した場合、[ポジション指定]に移動後のポジション番号を表示します。ポジション移動できなかった場合（※2の場合を含む）、[ポジション指定]は空白表示となります。なお、[ポジション指定]に表示中のポジション番号は、現在選択中のポジションとは異なる場合があります。

※2 SW-U1403 にポジションが登録されていない、または登録されているポジションが1つのみ場合は、ポジション移動しません。

※3 1台の SW-U1403 に対して複数のアプリケーションでポジション移動を行う場合、最後に移動したポジションを基に移動します。

（例）VR-TS500 (A)がポジション1に移動要求、ポジション1に移動

→VR-TS500 (B)がポジション「次へ」要求、ポジション2に移動

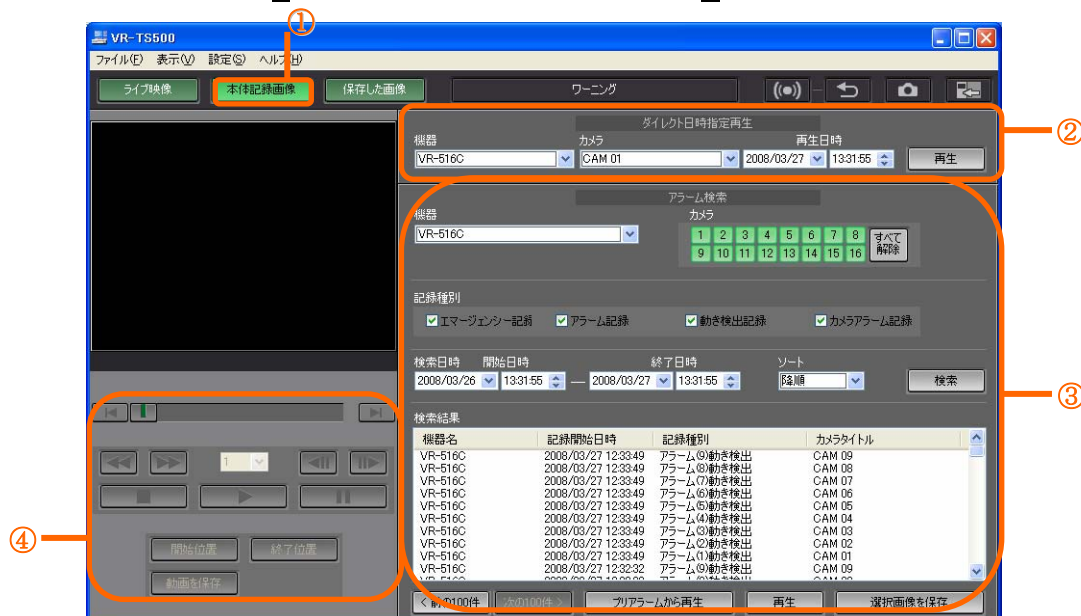
→VR-TS500 (A)がポジション「次へ」要求、ポジション3に移動

ただし、リモートコントロールユニットとアプリケーション間では、SW-U1403 がポジション選択状態を別々に記憶しているため、上記ポジション移動の制限はありません。

※4 ナイトモードは、SW-U1403 に対して ON/OFF を設定します。ナイトモードでのカメラの動作は、選択中のカメラが接続されている SW-U1403 の設定に依存します。

7. HDR内に記録された画像を検索・再生・保存する

①「本体記録画像」ボタンをクリックします。

（または、[表示(V)]メニューの[本体記録画像の再生(D)]を選択します）

●指定した日時の記録画像を再生する場合

②記録画像のダイレクト日時指定再生コントロールで各項目を指定し、再生ボタンをクリックすると、再生を開始します。（記録画像が HDR にない場合は再生されません）

●詳細な条件をもとに、記録画像を検索する場合

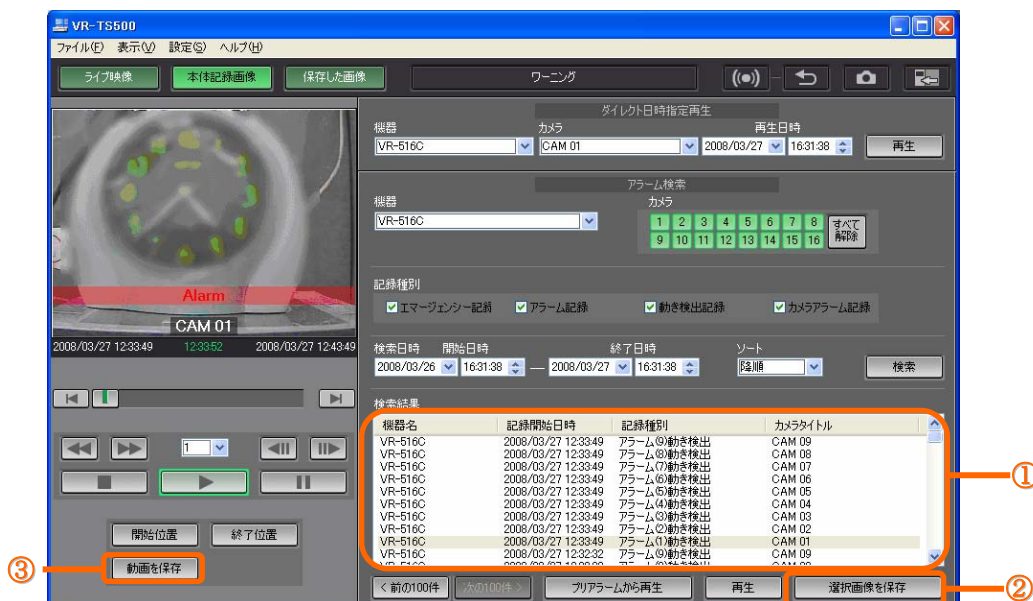
③記録画像の検索コントロールで各項目を指定し、検索ボタンをクリックすると、記録画像の検索を行います。

検索結果のリストから、再生する記録画像を選択し、再生ボタンをクリックすると、再生を開始します。
検索結果が 100 件以上の場合には、一度に表示することができません。［<前の 100 件］［次の 100 件>］ボタンをクリックして検索結果を表示してください。

［プリアラームから再生］ボタンをクリックすると、HDR でプリアラーム記録されている場合、プリアラーム記録開始時刻から再生を開始します。

※④再生コントロールについては、“コントロール一覧：本体記録画像”を参照してください。

※PC のタイムゾーンが日本以外に設定されている状態で、ダイレクト日時指定再生およびアラーム検索を行った場合、指定時間に対して日本時間との時差分だけシフトした結果になります。

※③の記録種別のカメラアラーム記録は、HDR と SW-U1403 が接続されており、カメラアラーム記録を設定している場合に、検索結果に表示されます。

●検索した結果をもとに、記録画像を保存する場合

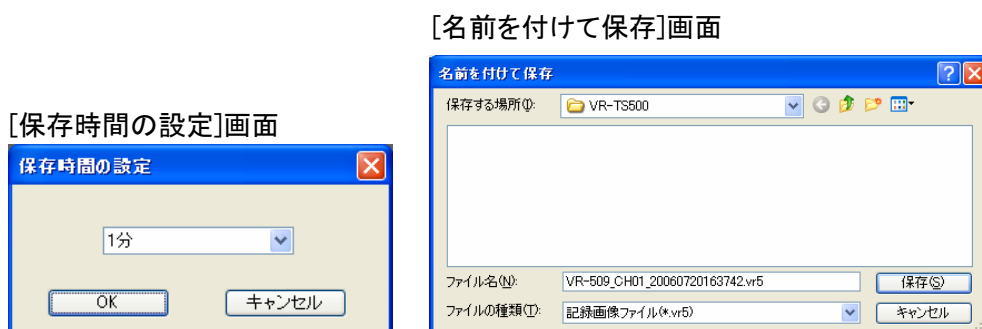
①検索結果リストから、保存する記録画像をクリックして選択します。

②[選択画像を保存]ボタンをクリックすると、[保存時間の設定]画面が表示されます。

保存したい時間を選択して OK ボタンをクリックすると、[名前を付けて保存]画面が表示されます。

[保存]ボタンをクリックすると、選択した記録画像を PC に保存します。

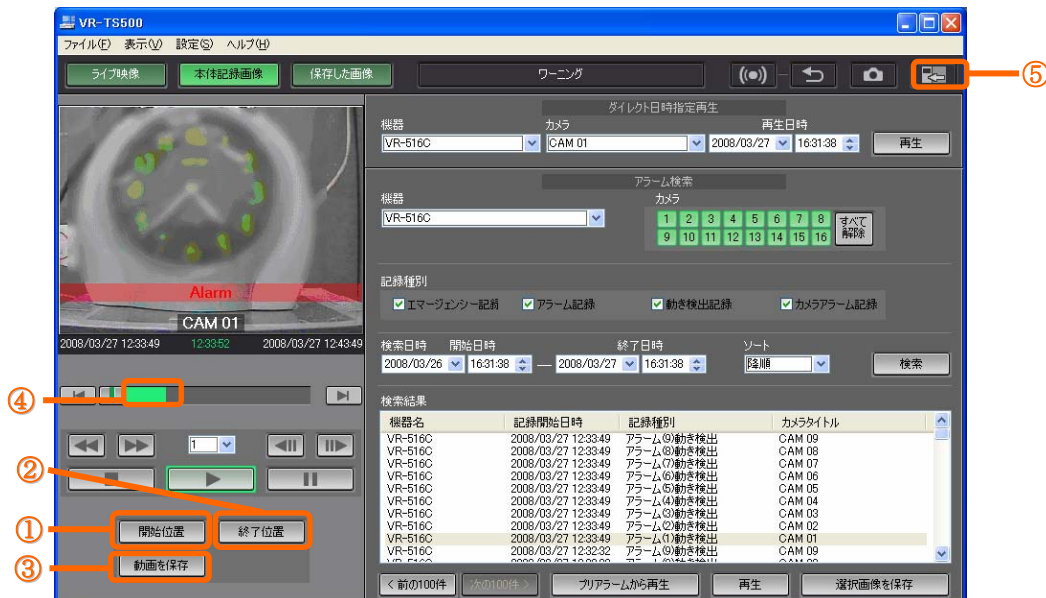
[保存時間の設定]画面

[名前を付けて保存]画面

※保存時間は 1 分から 30 分まで、1 分間隔で設定可能です。

※デフォルトのファイル名は、”機器名_カメラ番号_切り出し開始指定日時.vr5”となります。

保存処理中は、③[動画を保存]ボタンが[キャンセル]ボタンに変わり、ボタンの右側に処理の進み具合を示す緑色のバーが表示されます。[キャンセル]ボタンをクリックすると、保存処理をキャンセルすることができます。保存処理が完了すると、保存された記録画像ファイル名がフルパスで表示されます。

※記録画像の保存先フォルダを変更するには、“11. VR-TS500 の動作設定を変更する”を参照してください。

※その他、切り出し保存ファイルの制限事項については、次ページの[メモ]を参照してください。

●再生中の記録画像をもとに保存する場合

記録画像再生中に、①[開始位置]、②[終了位置]ボタンをクリックし、保存する範囲を選択します。選択された範囲は、現在位置スライダー上に④[緑色のバー]で表示されます。

※最大 30 分まで選択可能です。

③[動画を保存]ボタンをクリックすると、[名前を付けて保存]画面が表示されます。[保存]ボタンをクリックすると、再生中の記録画像から、選択範囲の記録画像を PC に保存します。

保存処理中は、③[動画を保存]ボタンが[キャンセル]ボタンに変わり、ボタンの右側に処理の進み具合を示す緑色のバーが表示されます。[キャンセル]ボタンをクリックすると、保存処理をキャンセルすることができます。保存処理が完了すると、保存された記録画像ファイル名がフルパスで表示されます。

●検索画面を表示/非表示する場合

⑤[コントロールの表示/非表示]ボタンをクリックすると、右側の検索画面の表示/非表示を変更することができます。

[メモ]

※1 つの切り出し保存ファイル中に保存可能な記録画像の数は、およそ 100 件です。選択された範囲に、最大件数を越える記録画像が含まれる場合、切り出し範囲は、先頭から最大件数の範囲に、自動的に調整されます。

※記録画像ファイルの最大サイズは、4.5GB です。

※停電等により本体記録データに修復不可能な破損が発生している部分を指定した時、記録画像保存が正常にできない場合があります。

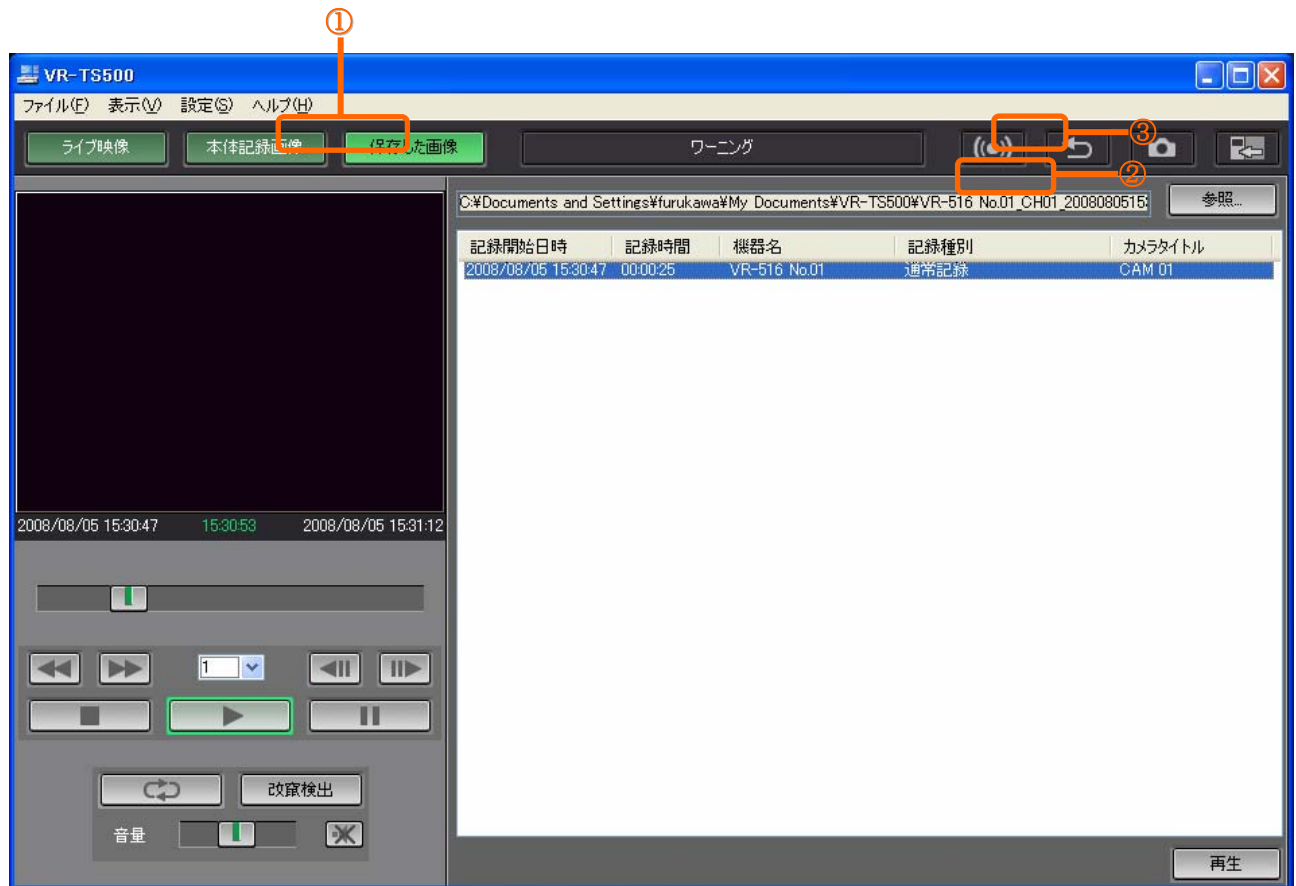
●コントロール一覧：本体記録画像

コントロール	名称	説明
	時間戻しボタン	設定した時間分（表示長さ×割合）、スライダーの範囲を過去に移動します　※1
	現在位置スライダー	現在の位置を示します。つまみをドラッグして再生位置をジャンプさせることができます　※1
	時間送りボタン	設定した時間分（表示長さ×割合）、スライダーの範囲を未来に移動します　※1
	停止ボタン	記録画像の再生を停止します
	再生ボタン	記録画像の再生を行います
	コマ戻しボタン	記録画像の表示を 1 コマ戻します
	コマ送りボタン	記録画像の表示を1コマ送ります
	巻戻しボタン	再生速度設定を基に、過去に向かって可変速再生を行います
	一時停止ボタン	記録画像の再生を一時停止します
	早送りボタン	再生速度設定を基に、未来に向かって可変速再生を行います
1	再生速度設定 ×1/2, 1, 3, 5, 15, 60, 360	巻き戻し、早送りの再生速度を設定します
開始位置	切り出し開始位置の設定	切り出し保存開始位置を設定します。 切り出し範囲のデフォルト設定は 10 分です
終了位置	切り出し終了位置の設定	切り出し保存終了位置を設定します。1 つのファイルに切り出し保存可能な範囲は、最大 30 分です
動画を保存　キャンセル	動画保存ボタン/キャンセルボタン	切り出し位置の設定をもとに、切り出し保存を実行、またはキャンセルします

※1：時間戻しボタン、時間送りボタン、現在位置スライダーで再生位置を移動後、該当時刻の記録画像が存在しない場合、
右方向移動では、未来時刻で一番近い記録画像を表示します。左方向移動では、過去時刻で一番近い記録画像を表示します。
また、ジャンプする範囲内に複数のイベント記録があるとき、現在位置スライダーで指定した再生位置よりもずれることがあります。
その場合はダイレクト日時指定再生をご利用ください。

８．PCに保存した画像を再生する

①「保存した画像」ボタンをクリックします。

（または、[表示(V)]メニューの[保存した画像の再生(E)]を選択します）

●VR-TS500 で PC に切り出し保存した画像を再生する場合

②「参照…」ボタンをクリックし、保存したファイル(ファイルの拡張子は vr5 です)を選択すると、ファイルに含まれる記録画像の情報がリストに表示されます。リストから再生する記録画像を選択し、再生ボタンをクリックすると、再生を開始します。

※起動中の VR-TS500 に機器登録されていない HDR から切り出し保存したファイルを選択した場合、リストの機器名には“登録情報なし(機器の MAC アドレス)”、カメラタイトルには“カメラ番号”が表示されます。

※リストの記録時間は目安です。実際の記録時間とは異なる場合があります。

●HDR で DVD エクスポートした画像を再生する場合

②「参照…」ボタンをクリックし、DVD エクスポートしたファイル(ファイルの拡張子は mpg です)を選択すると、再生を開始します。

※VR-509/516 の DVD エクスポート機能で保存した自己再生形式の画像のみ再生可能です。

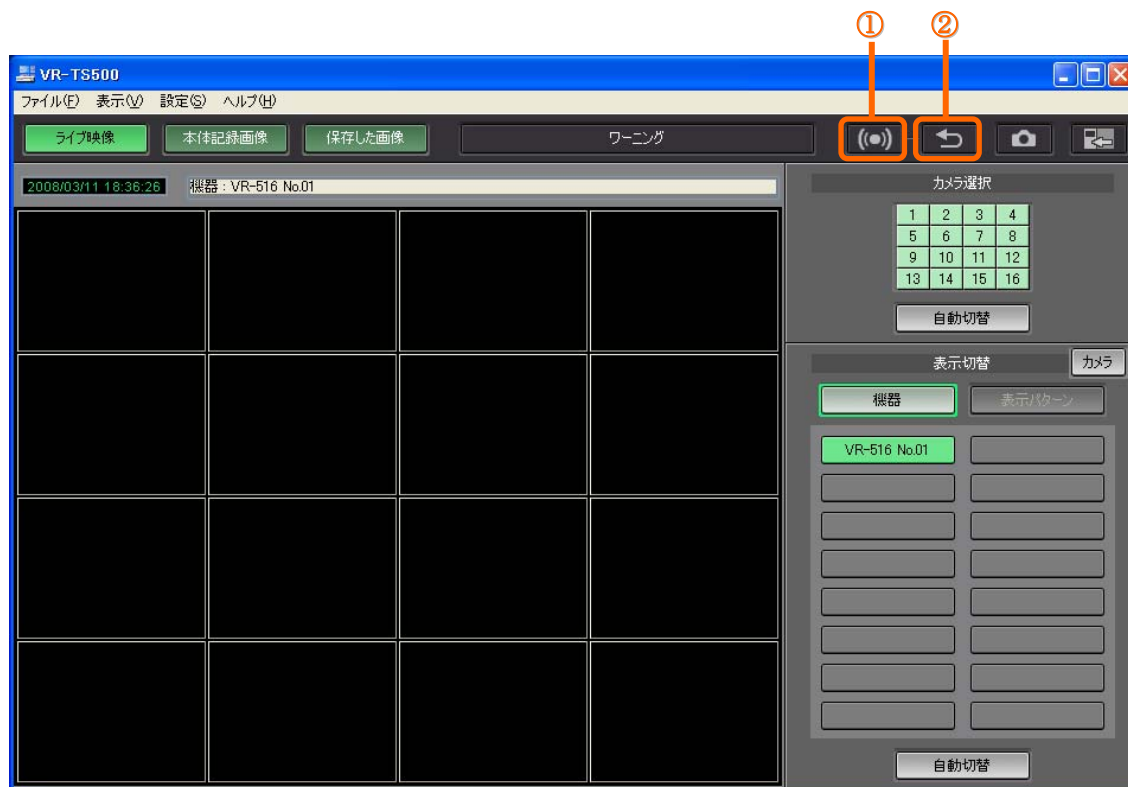
●記録画像の情報を表示/非表示する場合

③[コントロールの表示/非表示]ボタンをクリックすると、右側の記録画像の情報の表示/非表示を変更することができます。

●コントロール一覧：保存した画像

コントロール	名称	説明
	現在位置スライダー	現在の位置を示します。つまみをドラッグして再生位置をジャンプさせることができます
	停止ボタン	保存した画像の再生を停止します
	再生ボタン	保存した画像の再生を行います
	コマ戻しボタン	保存した画像の表示を 1 コマ戻します
	コマ送りボタン	保存した画像の表示を1コマ送ります
	ループ再生ボタン	保存した画像をループ再生します
	消音ボタン	消音の ON/OFF を切り替えます
	音量スライダー	音量の設定を行います
	巻戻しボタン	再生速度設定をもとに、過去に向かって可変速再生を行います
	一時停止ボタン	保存した画像の再生を一時停止します
	早送りボタン	再生速度設定をもとに、未来に向かって可変速再生を行います
1	再生速度設定 ×1/8, 1/4, 1/2, 1, 2, 4, 8	巻き戻し、早送りの再生速度を設定します
改竄検出	改竄検出ボタン	保存した画像の再生を中断し、改竄検出を行います

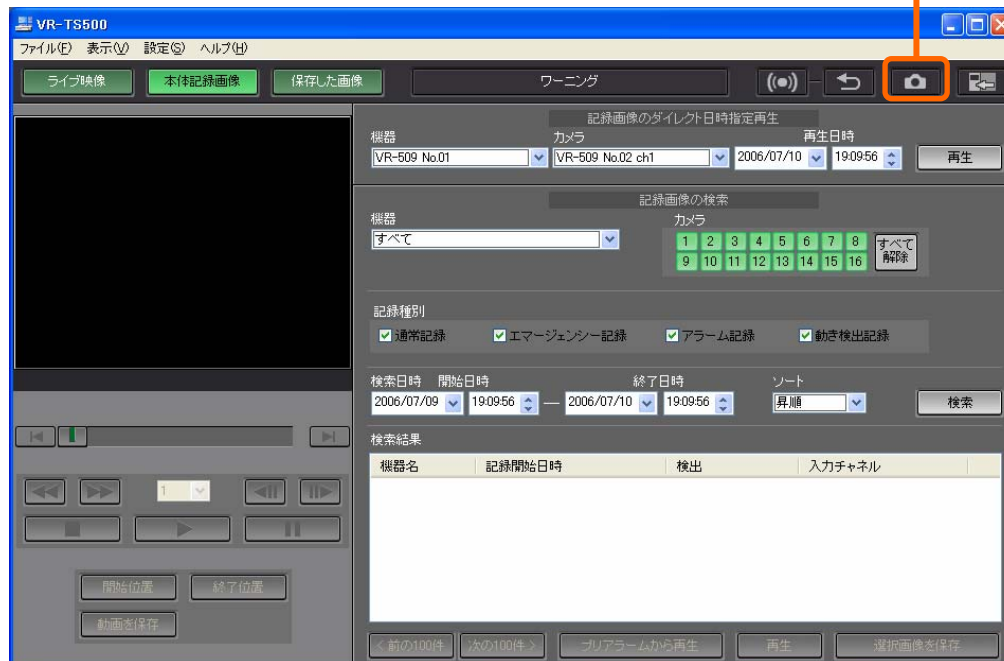
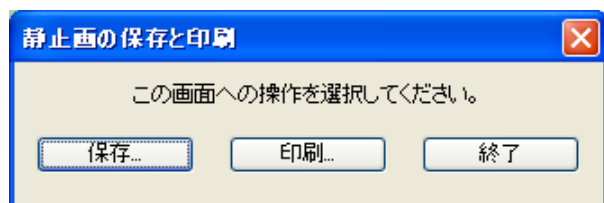
９．アラームが発生した映像を自動的に表示する

HDR から受信したアラーム信号をもとに、自動的にライブ映像を表示するには、
①[アラーム優先]ボタンをクリックして、ボタンを ON 状態にします。

[アラーム優先]ボタンが ON 状態の時、HDR からアラーム信号を受信すると、自動的にライブ映像表示モードに切り替わり、関連するライブ映像が表示されます([アラーム優先]表示状態)。アラーム信号に関連するライブ映像が複数存在する場合には、多分割で表示されます。

[アラーム優先]表示状態の時、②[アラーム復帰]ボタンをクリックすると、[アラーム優先]表示状態になる直前の表示状態に戻ります。[本体記録画像][保存した画像]、ライブ映像の各コントロールボタンをクリックしても、[アラーム優先]表示状態は解除されます。

※HDR 本体の操作でカメラタイトルを変更した場合、変更通知がワーニング情報として受信されますが、VR-TS500 上のカメラタイトルは自動更新されません。更新するには、VR-TS500 を再起動するか、[機器の登録]画面を起動してから[機器の登録]画面の[閉じる]ボタンをクリックしてください。

10. 静止画の保存と印刷

現在表示しているライブ映像または記録画像を静止画で保存、または印刷する場合、①[静止画保存]ボタンをクリックします。

プレビュー画面と同時に、[静止画の保存と印刷]画面が表示されます。

●静止画で保存する場合

[保存...]ボタンをクリックしてください。

[名前を付けて保存]画面が表示されます。ファイル名を入力して、[保存]ボタンをクリックしてください。

●印刷する場合

[印刷...]ボタンをクリックしてください。

[印刷]画面が表示されます。印刷するプリンタを選択して、[OK]ボタンをクリックしてください。

※ライブ映像の静止画を保存・印刷する場合の注意事項

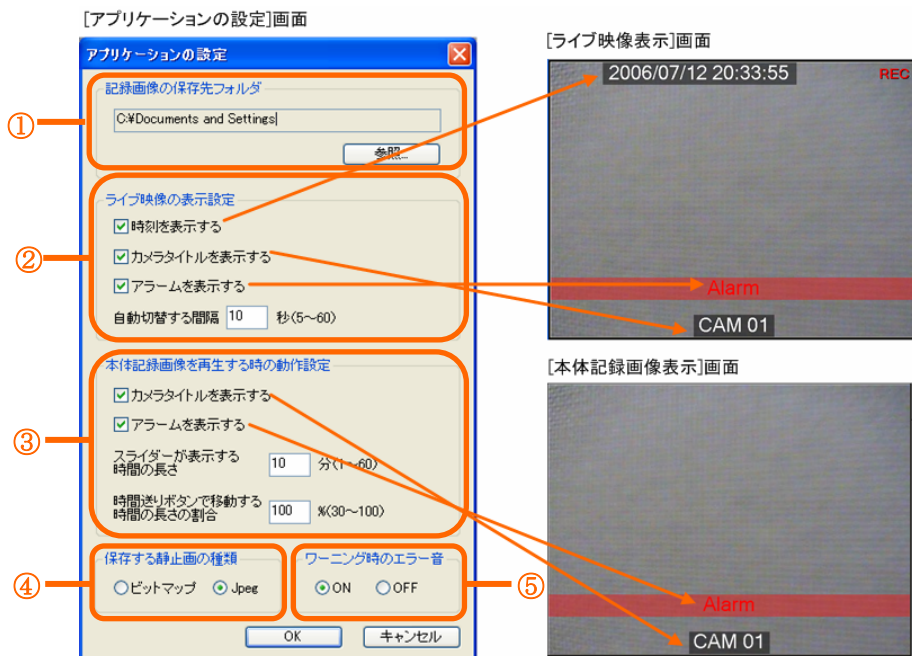
・単画面表示にして、①[静止画保存]ボタンをクリックしてください。

・分割画面表示のとき①[静止画保存]ボタンをクリックした場合は、左上に表示されているライブ映像が処理の対象となります。アラーム優先表示が分割画面表示の場合も同様です。

※保存する静止画の解像度（日付情報表示分を含む）

表示している映像・画像	解像度
ライブ映像	352×260 ピクセル
本体記録画像	352×260 ピクセル
保存した画像（HDR の記録画像モード　滑らか）	352×260 ピクセル
保存した画像（HDR の記録画像モード　高精細）	720×500 ピクセル

11. VR-TS500 の動作設定を変更する

[設定(S)]メニューの[アプリケーションの設定(S)]をクリックします。

図はデフォルト設定です。

①記録画像の保存先フォルダ

「参照...」ボタンをクリックし、HDR の記録画像を保存するフォルダを選択します。

デフォルト設定は、マイ ドキュメントフォルダ内の“VR-TS500”です。

②ライブ映像の表示設定

時刻・カメラタイトル・アラームの表示/非表示を設定します。

自動切替する間隔を設定します。設定可能な範囲は 5～60 秒です。

③本体記録画像を再生する時の動作設定

カメラタイトル・アラームの表示/非表示を設定します。

スライダーが表示する時間の範囲を設定します。設定可能な範囲は 1～60 分です。

時間送りボタンで移動する時間の長さを%で設定します。設定可能な範囲は 30～100%です。

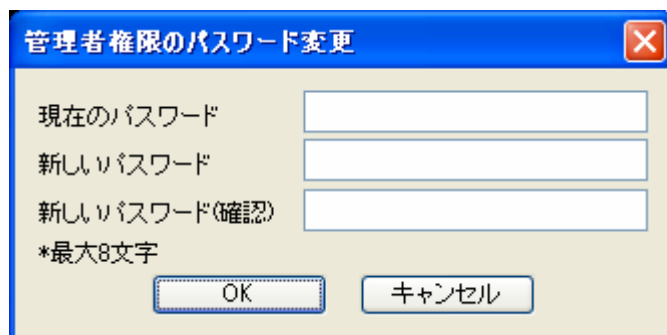
④保存する静止画の種類

ビットマップと Jpeg から選択します。

⑤ワーニング時の通知音

ワーニング発生時の通知音の ON/OFF を設定します。

１２. アクティベーションの設定をする

パッケージに同梱の VR-TS500 インストールマニュアルを参照してください。

１３. HDRの設定を変更する

HDRの設定を変更する場合、[設定(S)]メニューの[接続機器の設定を変更する]から、HDR名をクリックして、HDRの設定画面をWebブラウザで表示します。設定の詳細はHDRの取扱説明書を参照してください。

１４. VR-TS500 の管理者権限パスワードを変更する

[設定(S)]メニューの[管理者のパスワードの変更(P)...]をクリックします。

[管理者権限のパスワード変更]画面

現在のパスワードと、新しいパスワード、新しいパスワード(確認)を正しく入力し、OK ボタンをクリックするとパスワードが変更されます。

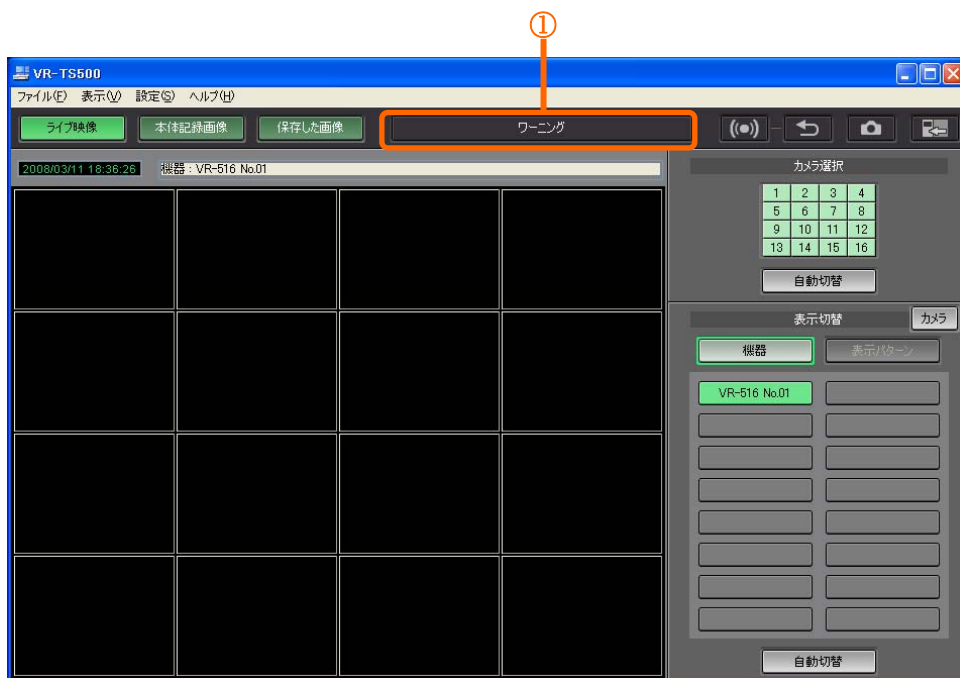
※工場出荷時のパスワードは“admin”です。

１５. 機器と表示パターンの設定を初期化する

[設定(S)]メニューの[機器と表示パターンの設定初期化(I)...]をクリックします。

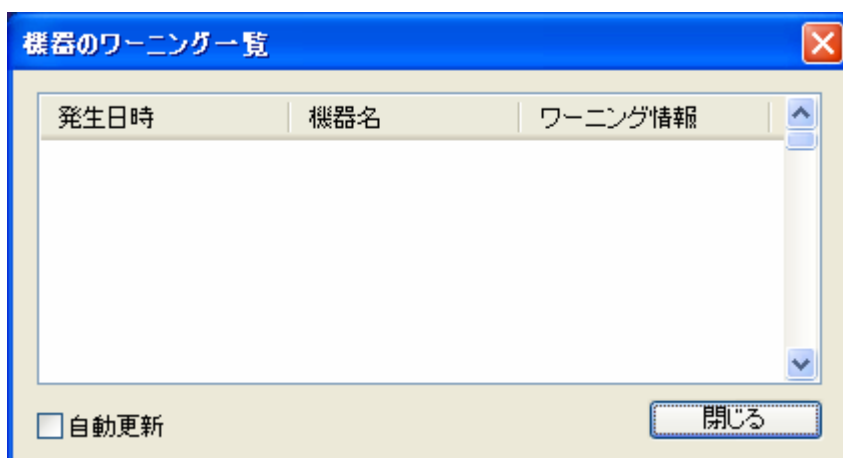
確認メッセージが表示され、OK ボタンをクリックすると機器と表示パターンの設定が初期化されます。

16. ワーニング情報を表示する

VR-TS500 に登録されている HDR のワーニング情報を①ワーニングボタンに表示します。ワーニング情報とは、“HDR がアラームを検知”、“HDR の設定変更”、“HDR に異常発生”の各情報を指します。

①ワーニングボタンをクリックすると、VR-TS500 が受信した、過去 100 件までのワーニング情報を表示します。

※100 件を越えると、古い情報から削除されます。

※VR-TS500 を終了すると、内容は破棄されます。

[機器のワーニング一覧]画面

自動更新を ON にすると、新しく受信したワーニング情報を自動的にリストに追加して表示します。

デフォルトは、自動更新が“ON”になっています。

●ワーニング情報一覧

番号	表示内容	説明
1	アラーム(リア端子番号)リア端子(記録カメラ番号)	アラーム端子に入力 アラーム端子番号:1〜16 記録カメラ番号:1〜16
2	アラーム(カメラ番号)動き検出	動き検出アラームが発生 カメラ番号:1〜16
3	アラーム エマージェンシー(記録カメラ番号)	エマージェンシー記録端子に入力 記録カメラ番号:1〜16
4	アラーム パスコード不適合検出	パスコード不適合検出記録が動作
5	HDD 異常	HDD 機能障害
6	ミラーリング機能障害	HDD 機能障害
7	初期化動作異常	ソフトウェアエラー
8	Encoder 異常	ハードウェアエラー
9	Decoder 異常	ハードウェアエラー
10	Codec1 デバイス異常(記録/再生用)	ハードウェアエラー
11	Codec2 デバイス異常(配信/変換用)	ハードウェアエラー
12	ファンモーター停止	ハードウェアエラー
13	DVD ドライブ異常	ハードウェアエラー
14	EEPROM 異常	ハードウェアエラー
15	ビデオロス(カメラ番号)カメラ	ビデオ信号未入力
16	HDD 残量なし	HDD 残量がない
17	HDD 残量僅か	HDD 残量が少量
18	EVENT 件数残量なし	イベント保存件数 残量がない
19	EVENT 件数残量警告発生	イベント保存件数 残量が少量
20	停電リスト更新	停電から復帰して停電リストを更新
21	パスコード不適合	パスコード入力を失敗
22	NTP 同期失敗	時刻合せサーバとの同期に失敗
23	オペロック ON	オペレーションロック ON
24	オペロックサブモード ON	オペレーションロック サブモード ON
25	オペロック OFF	オペレーションロック OFF
26	DVD エクスポート開始	DVD エクスポート処理を開始
27	DVD 見積り開始	DVD エクスポートの準備処理を開始
28	DVD エクスポート終了	DVD エクスポート処理を終了
29	DVD 見積り終了	DVD エクスポートの準備処理を終了

30	DVD エクスポート失敗	DVD エクスポート失敗
31	標準運用切替	標準運用設定に切り替え
32	運用切替(運用番号)	運用設定 1～9 に切り替え 運用番号:1～9
33	システム起動	背面電源ボタン ON / オペレートボタン ON
34	システム終了	オペレートボタン OFF
35	システム再起動	内部エラーにより再起動
36	カメラタイトル変更	カメラタイトルを変更
37	動作モード ノーマル	機器の動作モードがノーマルになった ※
38	動作モード カメラ	機器の動作モードがカメラになった ※
39	動作モード リモート	機器の動作モードがリモートになった ※
40	SW-U1403ナイトモードオン	SW-U1403 がナイトモードオンになった
41	SW-U1403ナイトモードオフ	SW-U1403 がナイトモードオフになった
42	SW-U1403初期化開始	SW-U1403 が初期化開始した
43	SW-U1403初期化終了	SW-U1403 が初期化終了した
44	SW-U1403過電流検出(カメラ番号)	SW-U1403 が過電流を検出した カメラ番号:1～16
45	SW-U1403通信タイムアウト	SW-U1403 と機器との通信がタイムアウトした
46	カメラアラーム(カメラ番号)アラーム	カメラにアラーム入力 カメラ番号:1～16
47	カメラアラーム(カメラ番号)アラーム記録	カメラアラーム記録開始 カメラ番号:1～16

※HDR にはカメラコントロールモードとして以下の3つのモードがあります。

VR-TS500 のワーニング情報 表示内容	HDR のモード	モードの説明
動作モード ノーマル	標準操作	ネットワーク経由でカメラコントロールできる(VR-TS500 でカメラコントロールできる)
動作モード カメラ	カメラコントロール	HDR のフロントパネルでカメラコントロールできる
動作モード リモート	リモート	リモートコントロールユニットでカメラコントロールできる

17. こまった時は

●インストールできない。

→OS が WindowsXP SP3 または WindowsVista SP1 であるか確認してください。

→以前のバージョンの VR-TS500 をすでにお使いの場合は、以前のバージョンをシステムから削除する必要があります。

●HDR を登録、または接続できない。

→HDR の電源が ON になっているか、確認してください。

→OS のファイアーウォールの設定を確認してください。

→VR-TS500 は、TCP の 10853 番ポートをソフトウェア内部で使用しています。他のソフトウェアと競合していないか確認してください。

→HDR のファームウェアバージョンが古い場合は、メッセージが表示されます。
最寄りのビクターサービスエンジニアリングまでご連絡ください。

→IP アドレスや MAC アドレスが重複していないか、確認してください。

→Internet Explorer で HDR にアクセスできるか、確認してください。

●ワーニング情報を受信できない。

→接続可能なクライアント数は、HDR 1 台あたり、最大 5 台(HDR が VR-509、VR-509(A)、VR-516、VR-516(A)の場合は 3 台)までとなります。接続中のクライアントの台数を確認してください。

→ワーニング情報は、UDP の 20000 番ポートに通知されます。実行中のファイアーウォールソフトウェアの設定を確認してください。また、他のソフトウェアと競合していないか確認してください。

→ルータ使用時、ルータの NAT/IP マスカレード設定を確認してください。

→OS のファイアーウォールの設定を確認してください。

→HDR を入れ替えた場合、HDR を再登録してください。

●ライブ映像の表示がぎこちない。

→分割表示画面の場合は、分割数に応じて、フレームレートを下げて表示しています。

→単画面表示にすると、改善される場合があります。

→それでも改善されない場合は、[配信する画質]の設定を調整してください。

●ライブ映像の表示画像、記録映像の再生画像全体がブロック状に表示される。

→[配信する画質]の設定が低い場合、このように表示されることがあります。設定を調整してください。

●ライブ映像の表示画像、記録映像の再生画像の一部がブロック状に表示される。

→ネットワークの状態が不安定な場合、このように表示されることがあります。

→ネットワークの状態を改善するか[配信する画質]の設定を低く設定すると、改善する場合があります。

●PC に切り出し保存した画像の再生で、画面表示が乱れる。

→グラフィックボードのドライバを最新のものにしてください。

→[スタート]ボタン→[コントロールパネル]→[画面のプロパティ]→[設定]タブ→[詳細設定]ボタン→[トラブルシューティング]タブ→"ハードウェアアクセラレータ"の設定を、左から 3 番目(,,,DirectDraw および Direct3D すべてのアクセラレータを無効にします。,,,)に設定してください。

●表示する日付フォーマットが年月日ではない。

→OS の日付フォーマットに依存します。元号表記は本体記録画像の再生日時、検索開始終了日時を除いて西暦表記になります。

●カメラコントロールができない。

→機器の詳細設定で、コントロールするカメラのチェックが ON になっているか、確認してください。

→HDR でカメラコントロールできるか、確認してください。

→Internet Explorer でカメラコントロールできるか、確認してください。

→HDR の設定メニューや再生メニューが表示されていないか、確認してください。

→HDR が DVD 操作モードのとき、HDR のファームウェアのバージョンによっては、カメラコントロールはできません。HDR が HDD 操作モードであるか、確認してください。

●登録した設定が保存できない。

→インストール後、Windows Vista のユーザーアカウント制御の有効/無効を切り替えた場合、登録した機器や表示パターンなど正しく読み込めなくなることがあります。その場合、これらの情報を再度登録しなおしてください。

●アクティベーション設定が保存できない。

→インストール後、Windows Vista のユーザーアカウント制御の有効/無効を切り替えた場合、アクティベーション情報がリセットされる場合があります。その場合、再度アクティベーションを行ってください。